資料編

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申（総合的評価）

平成 26 年 11 月 7 日

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

○市民参加実施状況（平成 25 年度実績）集計結果

- 市民参加の実施状況（平成 25 年度実績）【審議会等】
- 市民参加の実施状況（平成 25 年度実績）【パブリックコメント】
- 市民参加の実施状況（平成 25 年度実績）【その他の市民参加】

○無作為抽出による審議会等の公募市民委員の募集結果について

○公募市民委員アンケート集計結果

○平成 25 年度市民協働事業実施状況

- 財政的支援（補助金等）
- 参入の機会提供（委託・協定・覚書等）
- 共催・後援
- 意見交換・情報交換（懇談会・フォーラム・シンポジウム等）

○市民協働事業評価アンケート（平成 25 年度実績）集計結果

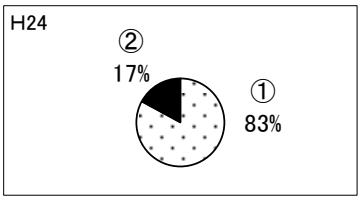
- 市民協働事業評価アンケート

市民参加実施状況（平成25年度実績）集計結果

1．公募市民委員の有無

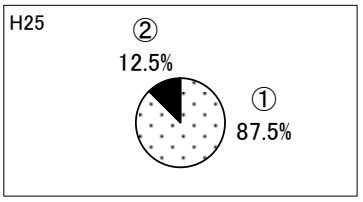
平成24年度

公募市民委員を設置している審議会等①	34	83%
公募市民委員を設置していない審議会等②	7	17%
計	41	

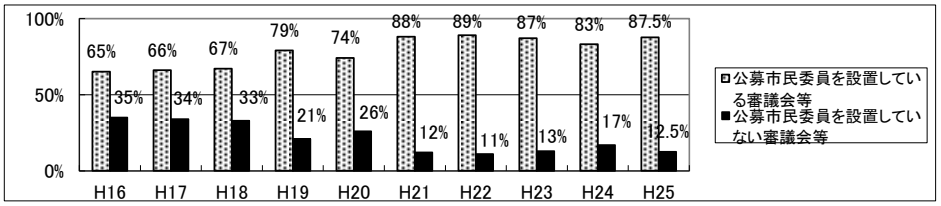


平成25年度

公募市民委員を設置している審議会等①	35	87.5%
公募市民委員を設置していない審議会等②	5	12.5%
計	40	



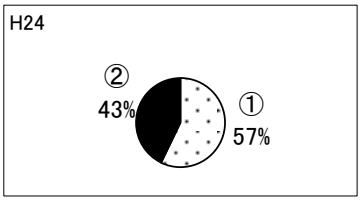
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公募市民委員を設置している審議会等	65%	66%	67%	79%	74%	88%	89%	87%	83%	87.5%
公募市民委員を設置していない審議会等	35%	34%	33%	21%	26%	12%	11%	13%	17%	12.5%



2．公募市民委員枠がない場合の理由

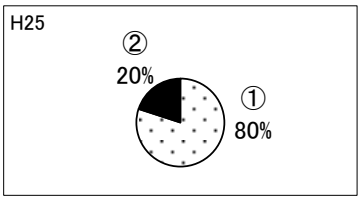
平成24年度

法律・条例等の規定に基づく①	4	57%
専門的・実務的な検討を行うため②	3	43%
その他③	0	0%
計	7	

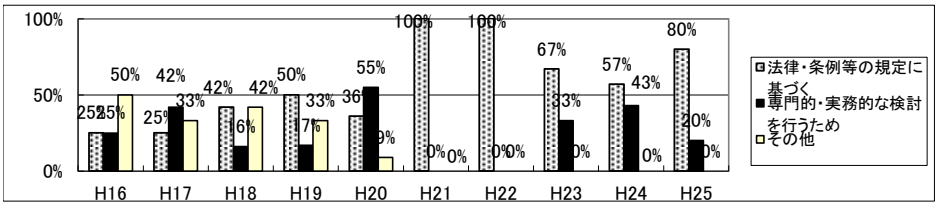


平成25年度

法律・条例等の規定に基づく①	4	80%
専門的・実務的な検討を行うため②	1	20%
その他③	0	0%
計	5	



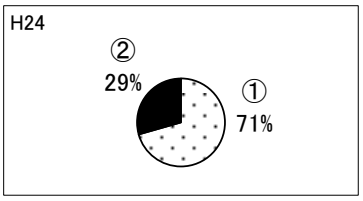
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
法律・条例等の規定に基づく	25%	25%	42%	50%	36%	100%	100%	67%	57%	80%
専門的・実務的な検討を行うため	25%	42%	16%	17%	55%	0%	0%	33%	43%	20%
その他	50%	33%	42%	33%	9%	0%	0%	0%	0%	0%



3．公募市民委員の男女の割合

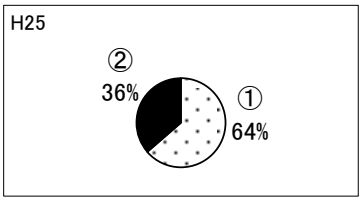
平成24年度

男性①	84	71%
女性②	35	29%
計	119	

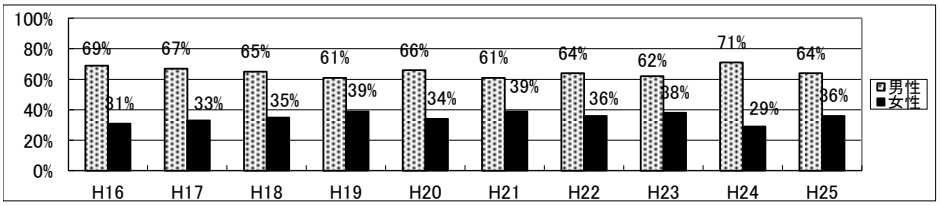


平成25年度

男性①	84	64%
女性②	48	36%
計	132	



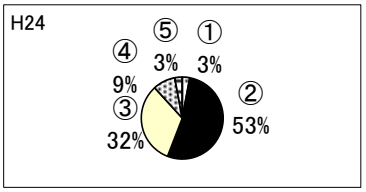
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
男性	69%	67%	65%	61%	66%	61%	64%	62%	71%	64%
女性	31%	33%	35%	39%	34%	39%	36%	38%	29%	36%



4．公募市民委員の応募条件＜年齢＞

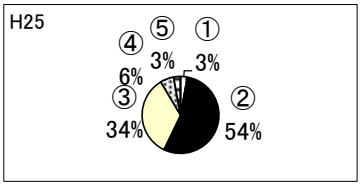
平成24年度

15歳以上①	1	3%
18歳以上②	18	53%
20歳以上③	11	32%
40歳以上④	3	9%
18歳以上73歳未満⑤	1	3%
制限なし⑥	0	0%
計	34	

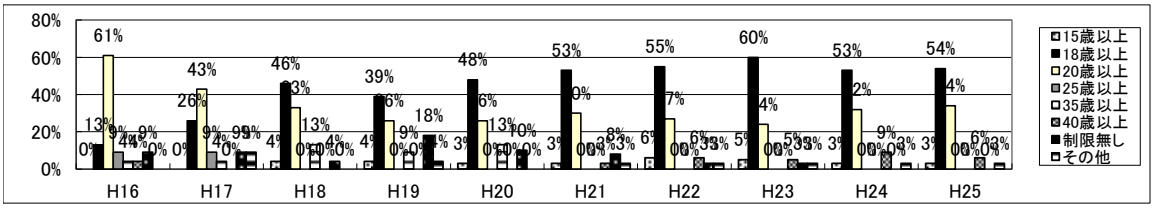


平成25年度

15歳以上①	1	3%
18歳以上②	19	54%
20歳以上③	12	34%
40歳以上④	2	6%
18歳以上73歳未満⑤	1	3%
制限なし⑥	0	0%
計	35	



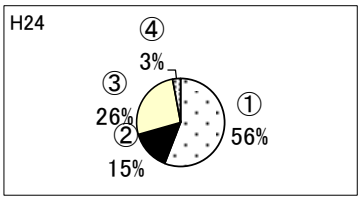
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
15歳以上	0%	0%	4%	4%	3%	3%	6%	5%	3%	3%
18歳以上	13%	26%	46%	39%	48%	53%	55%	60%	53%	54%
20歳以上	61%	43%	33%	26%	26%	30%	27%	24%	32%	34%
25歳以上	9%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
35歳以上	4%	4%	13%	9%	13%	0%	0%	0%	0%	0%
40歳以上	4%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	5%	9%	6%
制限無し	9%	9%	4%	18%	10%	8%	3%	3%	0%	0%
その他	0%	9%	0%	4%	0%	3%	3%	3%	3%	3%



5．公募市民委員の応募条件　＜在住＞＜在勤＞＜在学＞

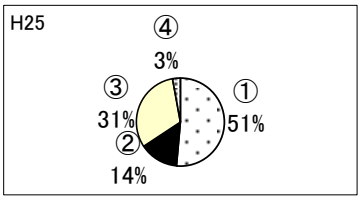
平成24年度

在住･在勤･在学　条件有①	19	56%
在住･在勤　条件有②	5	15%
在住のみ　条件有③	9	26%
条件無④	1	3%
計	34	

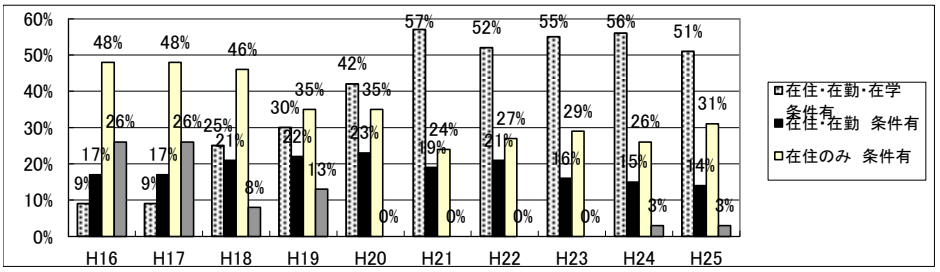


平成25年度

在住･在勤･在学　条件有①	18	51%
在住･在勤　条件有②	5	14%
在住のみ　条件有③	11	31%
条件無④	1	3%
計	35	



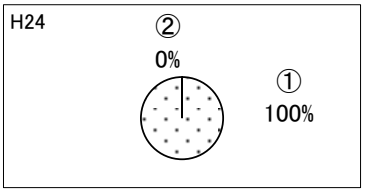
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
在住･在勤･在学　条件有	9%	9%	25%	30%	42%	57%	52%	55%	56%	51%
在住･在勤　条件有	17%	17%	21%	22%	23%	19%	21%	16%	15%	14%
在住のみ　条件有	48%	48%	46%	35%	35%	24%	27%	29%	26%	31%
条件無	26%	26%	8%	13%	0%	0%	0%	0%	3%	3%



6．諮問等事案の有無

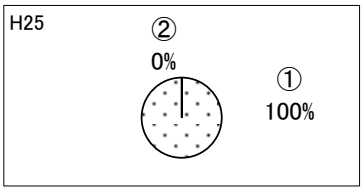
平成24年度

諮問等事案有①	34	100%
諮問等事案無②	0	0%
計	34	

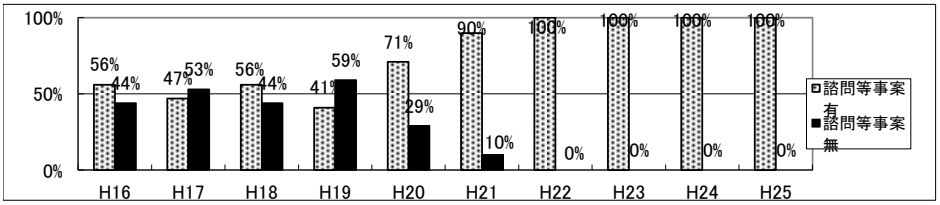


平成25年度

諮問等事案有①	35	100%
諮問等事案無②	0	0%
計	35	



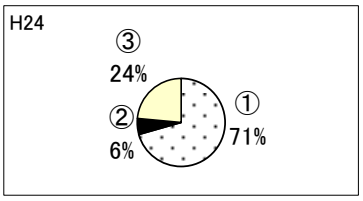
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
諮問等事案有	56%	47%	56%	41%	71%	90%	100%	100%	100%	100%
諮問等事案無	44%	53%	44%	59%	29%	10%	0%	0%	0%	0%



7．諮問等事案の公表の有無

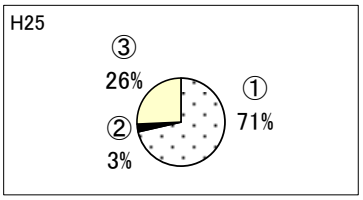
平成24年度

公表有①	24	71%
一部公表できなかった②	2	6%
公表無③	8	24%
計	34	

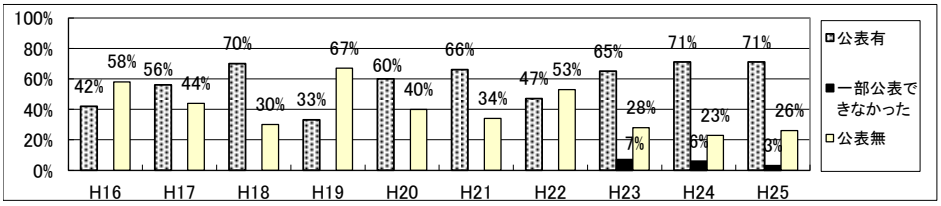


平成25年度

公表有①	25	71%
一部公表できなかった②	1	3%
公表無③	9	26%
計	35	



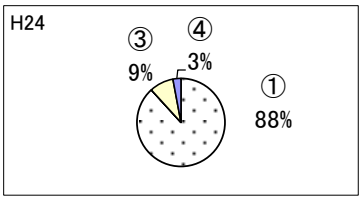
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公表有	42%	56%	70%	33%	60%	66%	47%	65%	71%	71%
一部公表できなかった								7%	6%	3%
公表無	58%	44%	30%	67%	40%	34%	53%	28%	23%	26%



8．審議会等の公開

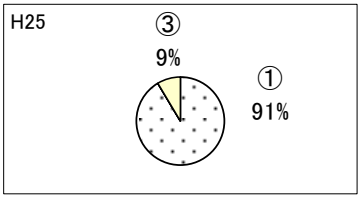
平成24年度

公開①	30	88%
非公開②	0	0%
一部非公開③	3	9%
その他（未開催）④	1	3%
計	34	

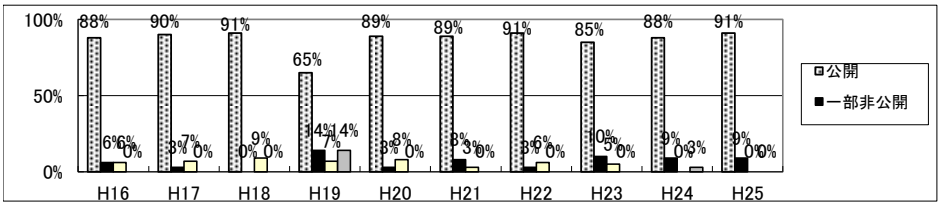


平成25年度

公開①	32	91%
非公開②	0	0%
一部非公開③	3	9%
計	35	



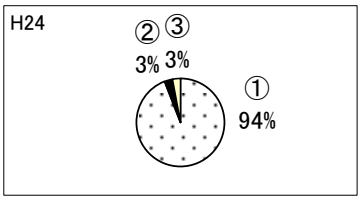
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公開	88%	90%	91%	65%	89%	89%	91%	85%	88%	91%
一部非公開	6%	3%	0%	14%	3%	8%	3%	10%	9%	9%
非公開	6%	7%	9%	7%	8%	3%	6%	5%	0%	0%
その他（未公表、未開催）	0%	0%	0%	14%	0%	0%	0%	0%	3%	0%



9．会議録の公表

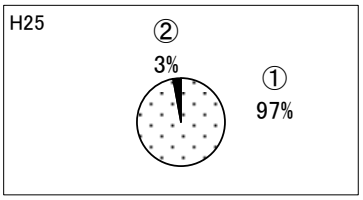
平成24年度

公表①	32	94%
一部公表しなかった②	1	3%
その他（未開催）③	1	3%
計	34	

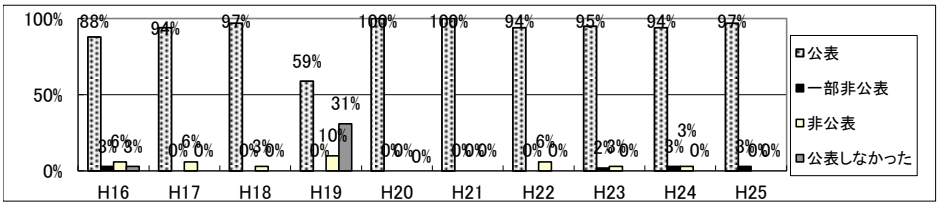


平成25年度

公表①	34	97%
一部公表②	1	3%
計	35	



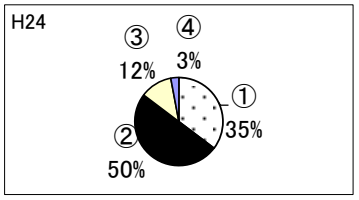
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公表	88%	94%	97%	59%	100%	100%	94%	95%	94%	97%
一部非公表	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	3%
非公表	6%	6%	3%	10%	0%	0%	6%	3%	3%	0%
公表しなかった	3%	0%	0%	31%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



10．会議録の公表時期（４週間以内に公表）

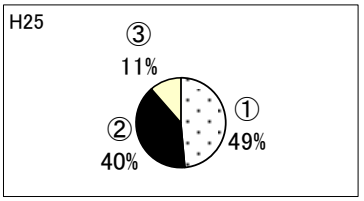
平成24年度

期間内に公表①	12	35%
期間内に一部公表②	17	50%
期間内に公表できなかった③	4	12%
その他（未開催）④	1	3%
計	34	

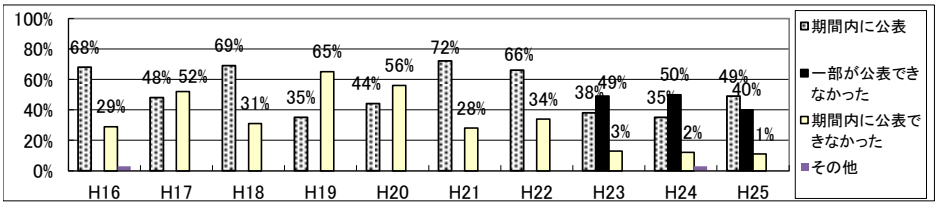


平成25年度

期間内に公表①	17	49%
期間内に一部公表②	14	40%
期間内に公表できなかった③	4	11%
計	35	



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
期間内に公表	68%	48%	69%	35%	44%	72%	66%	38%	35%	49%
一部が公表できなかった								49%	50%	40%
期間内に公表できなかった	29%	52%	31%	65%	56%	28%	34%	13%	12%	11%
その他	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%

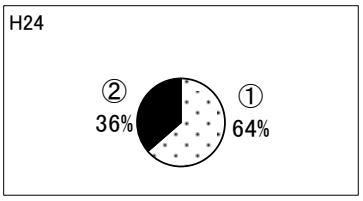


１１．委員名簿の公表

平成24年度

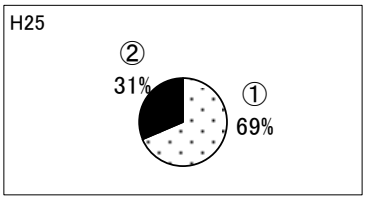
公表①	21	64%
非公表②	12	36%
計	33	

※22年度までは委員名の公表で集計

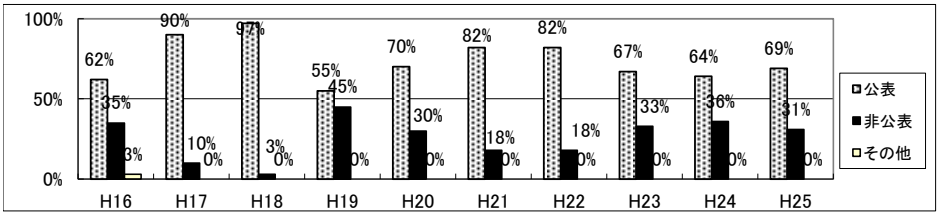


平成25年度

公表①	24	69%
非公表②	11	31%
計	35	



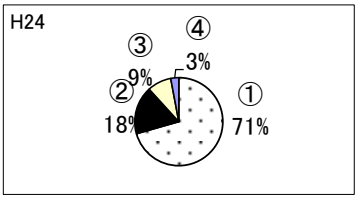
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公表	62%	90%	97%	55%	70%	82%	82%	67%	64%	69%
非公表	35%	10%	3%	45%	30%	18%	18%	33%	36%	31%
その他	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



１２．審議会等の開催予定の公表

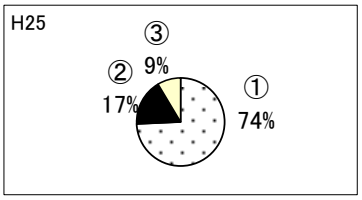
平成24年度

公表した①	24	71%
一部公表②	6	18%
公表しなかった③	3	9%
その他（未開催）④	1	3%
計	34	

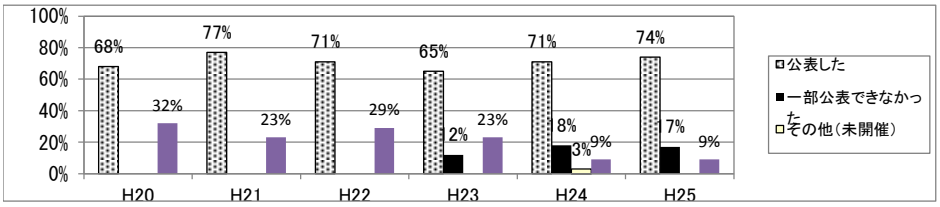


審議会等の開催予定の公表 平成25年度

公表した①	26	74%
一部公表②	6	17%
公表しなかった③	3	9%
計	35	



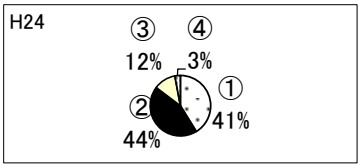
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公表した	68%	77%	71%	65%	71%	74%
一部公表できなかった				12%	18%	17%
公表しなかった	32%	23%	29%	23%	9%	9%
その他（未開催）					3%	



１３．会議の開催時間

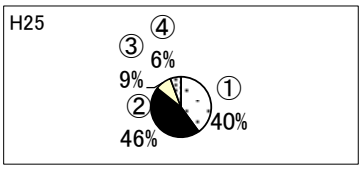
平成24年度

平日昼間①	14	41%
平日夜間②	15	44%
平日昼間・夜間と休日③	4	12%
その他（未開催）④	1	3%
計	34	

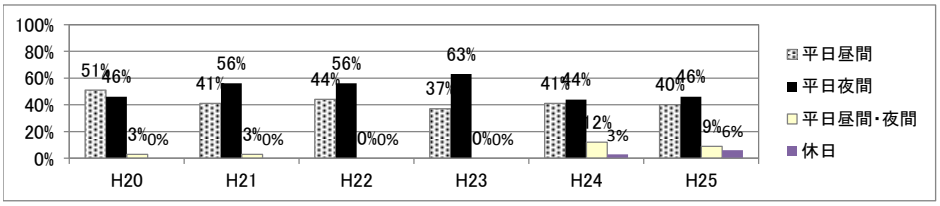


会議の開催時間　平成25年度

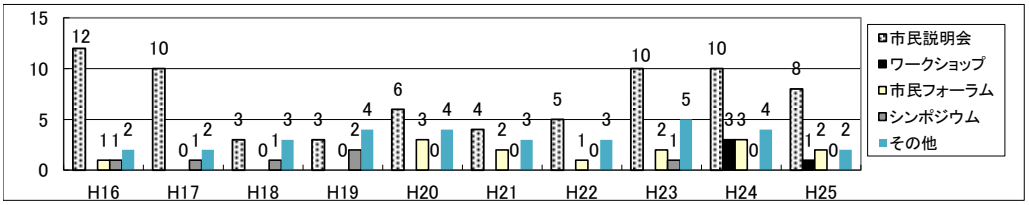
平日昼間①	14	40%
平日夜間②	16	46%
平日昼間・夜間と休日③	3	9%
休日④	2	6%
計	35	



	H20	H21	H22	H23	H24	H25
平日昼間	51%	41%	44%	37%	41%	40%
平日夜間	46%	56%	56%	63%	44%	46%
平日昼間・夜間	3%	3%	0%	0%	12%	9%
休日	0%	0%	0%	0%	3%	6%



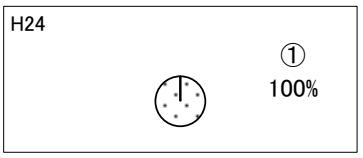
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
市民説明会	12	10	3	3	6	4	5	10	10	8
ワークショップ									3	1
市民フォーラム	1	0	0	0	3	2	1	2	3	2
シンポジウム	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0
その他	2	2	3	4	4	3	3	5	4	2



１４．報告書作成の有無（その他の市民参加）

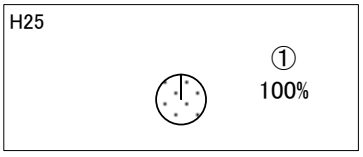
平成24年度実施

報告書有①	20	100%
報告書無②	0	0%
計	20	

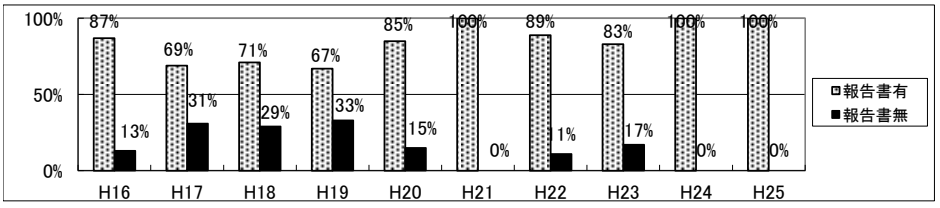


平成25年度実施

報告書有①	13	100%
報告書無②	0	0%
計	13	



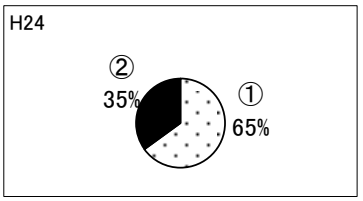
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
報告書有	87%	69%	71%	67%	85%	100%	89%	83%	100%	100%
報告書無	13%	31%	29%	33%	15%	0%	11%	17%	0%	0%



１５．報告書の公表（その他の市民参加）

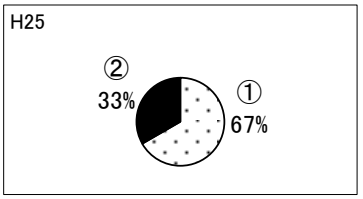
平成24年度実施

公表①	13	65%
非公表②	7	35%
計	20	

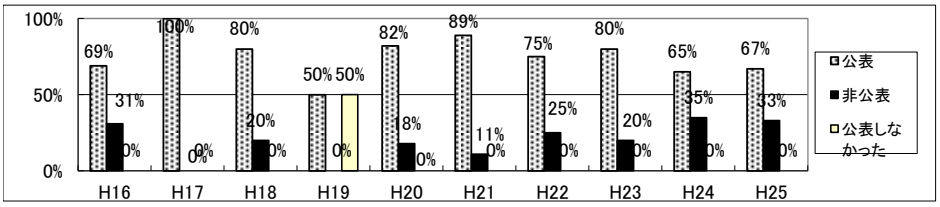


平成25年度実施

公表①	8	67%
非公表②	4	33%
計	12	



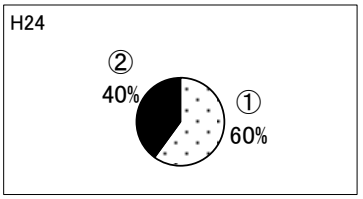
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
公表	69%	100%	80%	50%	82%	89%	75%	80%	65%	67%
非公表	31%	0%	20%	0%	18%	11%	25%	20%	35%	33%
公表しなかった	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



１６．その他市民参加報告書等の公表時期（4週間以内に公表）

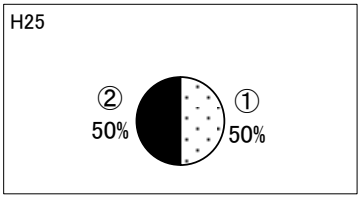
平成24年度

期間内に公表①	12	60%
期間内に公表できなかった②	8	40%
計	20	



平成25年度

期間内に公表①	6	50%
期間内に公表できなかった②	6	50%
計	12	



＜注意＞

・パーセントの比率は、原則、小数点以下四捨五入としているため、合計が100とならない場合があります。

市民参加の実施状況（平成25年度実績）【審議会等】

審議会等名称	公募市民委員の有無			委員の人数								
	公募市民有無	公募市民枠がない理由	会議回数	委員定数	委員実数	公募市民委員の定数	公募市民委員の人数	男性（全体）	男性（公募）	女性（全体）	女性（公募）	20歳未満青少年公募市民委員
狛江市個人情報保護審議会	有	—	4	7	7	4	4	6	3	1	1	0
狛江市個人情報保護審査会	有	—	1	5	5	4	4	4	4	1	0	0
狛江市情報公開審査会	有	—	3	5	5	4	4	4	4	1	0	0
狛江市外部評価委員会	有	—	4	11	11	7	7	7	4	4	3	0
狛江市市民参加と市民協働に関する審議会	有	—	6	15	15	9	9	9	5	6	4	0
狛江市市民活動支援センター開設準備委員会	有	—	1	12	12	6	6	8	3	4	3	0
狛江市男女共同参画推進委員会	有	—	4	8	8	7	7	3	3	5	4	0
狛江市国民保護協議会	無	武力攻撃事態における国民の保護のための措置法40条4項	1	30	16	0	0	14	0	2	0	0
狛江市防災会議	無	防災会議条例3条（関係機関職員）	2	30	29	0	0	23	0	6	0	0
狛江市交通安全対策会議	有	—	1	15	12	3	1	10	0	2	1	0
狛江市安心で安全なまちづくり推進審議会	有	—	4	10	5	5	4	4	3	1	1	0
「音楽の街―狛江」構想推進委員会	有	—	6	10	10	4	4	7	3	3	1	0
狛江市商店街振興プラン策定委員会	有	—	6	10	10	3	3	8	1	2	2	0
市民福祉推進委員会	有	—	4	21	21	5	5	15	3	6	2	0
市民福祉推進委員会障がい小委員会	有	—	3	8	8	5	5	4	3	4	2	0
市民福祉推進委員会高齢小委員会	有	—	3	9	9	1	1	7	0	2	1	0
狛江市地域包括支援センター運営協議会	有	—	3	12	8	7	4	7	3	1	1	0
狛江市介護保険推進市民協議会	有	—	3	13	13	4	4	9	2	4	2	0
狛江市健康づくり推進協議会	有	—	3	13	12	4	3	6	2	6	1	0
狛江市国民健康保険運営協議会	有	—	2	14	11	4	2	8	0	3	2	0
狛江市路上喫煙禁止条例策定検討委員会	有	—	5	9	8	4	3	8	3	0	0	0
狛江市環境保全審議会	有	—	3	13	10	8	6	9	5	1	1	0
狛江市環境保全実施計画推進委員会	有	—	7	15	11	3	3	9	3	2	0	0
狛江市都市計画審議会	有	—	1	14	13	3	2	12	2	1	0	0
狛江市まちづくり委員会（調整会を含む）	有	—	3	15	14	10	9	13	8	1	1	0
狛江市地域公共交通会議	有	—	2	13	12	3	2	12	2	0	0	0
狛江市ごみ半減推進審議会	有	—	6	18	11	12	6	9	4	2	2	0
狛江市子ども・子育て会議	有	—	9	16	15	4	3	10	1	5	2	0
狛江市プレーパーク設置準備委員会	有	—	9	12	12	3	3	6	0	6	3	0
狛江市青少年委員の会議	有	—	11	10	9	4	4	5	3	4	1	0
狛江市青少年問題協議会	無	地方青少年問題協議会法3条、設置条例、施行規則	2	25	24	0	0	16	0	8	0	0
狛江市青少年問題協議会小委員会	有	—	4	18	15	2	0	7	0	8	0	0
狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会	有	—	5	4	4	2	2	3	1	1	1	0
狛江市社会教育委員の会議	有	—	8	10	8	2	2	5	2	3	0	0
狛江市スポーツ推進審議会	有	—	2	10	6	2	0	6	0	0	0	0
狛江市スポーツ推進委員会議	無	社会体育に対し専門性があり、継続して活動できる人材を求めているため。	11	20	12	0	0	5	0	7	0	0
狛江市市史編さん委員	有	—	2	10	10	3	2	7	0	3	2	0
狛江市文化財専門委員の会議	無	狛江市文化財保護条例3、4条（文化財の指定・解除等重要事項審議のため専門的知識が必要。）	3	10	6	0	0	4	0	2	0	0
狛江市立公民館運営審議会	有	—	7	10	9	6	6	6	3	4	3	0
狛江市立図書館協議会	有	—	7	10	8	2	2	3	1	5	1	0

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)
520	444	159	132	318	84	127	48	0

委員充足率(B)／(A)	公募委員充足率(D)／(C)	全委員男女割合(E)・(G)／(B)		公募委員男女割合(F)・(H)／(D)	
85.4%	83.0%	71.6%	28.6%	63.6%	36.4%
		男性	女性	男性	女性

市民参加の実施状況（平成25年度実績）【審議会等】

公募市民委員の応募条件					諮問等事案		会議の公開				会議時間
年齢	在住	在勤	在学	その他の条件	諮問・検討等事案有無	諮問・検討等事案公表	開催予定の公表	開催予定公表の媒体	会議の公開	非公開理由	会議開催時間
20歳以上	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報	公開	—	平日昼間
20歳以上	○	—	—	—	有	公表した	公表しなかった	—	一部非公開	個人情報保護条例31条2第5項	平日昼間
20歳以上	○	—	—	—	無	公表しなかった	公表しなかった	—	一部非公開	情報公開条例18条5項	平日昼間
18歳以上	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間・休日
18歳以上	○	○	○	市民参加及び市民協働に関心のある者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間・休日
18歳以上	○	○	○	市民活動支援センターに関心のある者	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間・休日
—	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
—	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
15歳以上	○	○	○	「音楽の街―狛江」構想に関心のある者	有	公表しなかった	一部公表できなかった	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
20歳以上	○	○	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
20歳以上	○	○	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	休日
20歳以上	○	○	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	休日
40歳以上	○	○	—	被保険者、サービス利用者、施設サービス従事者、居宅サービス事業関係者，NPO等地域サービス関	有	公表しなかった	公表した	広報	公開	—	平日夜間
40歳以上	○	○	—	—	有	公表した	一部公表できなかった	広報・ホームページ	一部非公開	その他	平日夜間
20歳以上	○	○	○	平日会議出席可能	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上73歳未満	○	—	—	狛江市国民健康保険被保険者	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	—	—	—	○	一部公表できなかった	一部公表できなかった	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	○	○	会議に出席できる者	有	公表した	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表しなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
20歳以上	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表した	ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	—	—	—	有	公表しなかった	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表した	公表した	ホームページ	公開	—	平日夜間
—	—	—	—	—	有	一部公表できなかった	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表した	一部公表できなかった	ホームページ	公開	—	平日昼間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日昼間
20歳以上	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
20歳以上	—	—	—	市内スポーツ関係者	有	公表した	公表した	広報	公開	—	平日夜間
—	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報	公開	—	平日夜間
20歳以上	○	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
—	—	—	—	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
20歳以上	○	○	○	—	有	公表した	公表した	広報・ホームページ	公開	—	平日夜間
18歳以上	○	○	○	—	有	公表しなかった	公表しなかった	—	公開	—	平日夜間

市民参加の実施状況（平成25年度実績）【審議会等】

会議録の公表			委員名簿	備考	審議会等名称
会議録公表	非公表理由	4週間以内公表	委員名簿公表有無		
公表	—	△	有		個人情報審議
公表	—	○	有		個人情報審査
一部非公表	—	○	有		情報公開審査
公表	—	△	有		外部評価
公表	—	○	有		参加と協働
公表	—	○	有		支援センター
公表	—	○	有		男女共同
公表	—	○	有		国民保護
公表	—	△	有		防災会議
公表	—	○	有		交通安全
公表	—	○	無		安安まちづくり
公表	—	△	無		音街
公表	—	○	有		商店街
公表	—	○	無		市民福祉
公表	—	○	無		障がい小
公表	—	○	無		高齢小
公表	—	×	無		地域包括
公表	—	△	無		介護保険
公表	—	○	無	平成25年度より附属機関に移行。	健康づくり
公表	—	○	有		国保
公表	—	△	有		路上喫煙
公表	—	○	有		環境保全
公表	—	○	有		環境保全計画推進
公表	—	×	有		都計審
公表	—	△	有		まちづくり委
公表	—	○	無		地域公共交通
公表	—	×	有		ごみ半減
公表	—	△	無		子ども・子育て
公表	—	△	無		プレパ
公表	—	○	有		青少年委員
公表	—	○	有		青問協
公表	—	△	有		青問協（小）
公表	—	△	有		教委自己点検
公表	—	△	有		社会教育委員
公表	—	△	有		スポ推審
公表	—	△	有	次回委員改選時（平成27年度予定）に公募市民委員を選考する予定。	スポ推委
公表	—	△	有		市史
公表	—	○	有		文化
公表	—	△	有		公運審
公表	—	×	有		図書館

市民参加の実施状況（平成25年度実績）【パブリックコメント】

				実施結果				報告書							
主管課	担当係	施策名	施策の内容	市民参加の対象 ＊「狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」第5条より	実施期間	開催予定の公表	開催予定公表の媒体	意見提出者数	提出意見数	施策事業に反映された、取り入れた意見件数	検討結果まとめの有無	検討結果まとめの公表	非公表の理由	検討結果まとめの公表時期4週間以内	備考
秘書広報室	広報広聴担当	シティセールスプラン素案	市のシティセールスに関する基本的な方向を定め、シティセールスの推進の基本施策を定める計画	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	3/1-3/31	公表した	広報・ホームページ	5	6	0	有	公表	—	○	シティセールスの観点からの意見がなかった。
安心安全課	防犯防災係	地域防災計画修正素案	地域防災に関し、市や関係機関が処理すべき内容等の大綱	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	6/14-7/16	公表した	広報・ホームページ	3	7	0	有	公表	—	○	
地域活性課	地域振興係	商店街振興プラン素案	H26-30までの商店街振興プラン策定	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	2/1-3/3	公表した	広報・ホームページ	3	12	0	有	公表	—	×	素案に対する意見がなかった。
まちづくり推進課	まちづくり推進担当	まちづくり条例一部改正条例素案	施行後10年の経過を踏まえ、また、都市マス改定も踏まえた条例改正	（2）市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	4/1-4/30	公表した	広報・ホームページ	13	25	0	有	公表	—	○	
まちづくり推進課	まちづくり推進担当	耐震改修促進計画素案	市内の耐震改修促進に係る計画	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	11/21-12/20	公表した	広報・ホームページ・その他	2	2	0	有	公表	—	○	
環境政策課	環境政策係	建築物の解体工事事前周知と環境配慮条例骨子	建築物の解体工事に際し近隣への周知と環境配慮について必要事項を定める条例制定	（2）市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃	11月15日～12月14日	公表した	広報・ホームページ	4	18	6	有	公表	—	○	
市史編さん室	市史編さん担当	市史編さん事業方針案	市史編さん委員会から答申を受けた市史編さん事業方針を市の方針とする。	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更	6/1-6/30	公表した	広報・ホームページ・その他	0	0	0	有	公表しなかった	—	×	意見提出なし

市民参加の実施状況（平成25年度実績）【その他の市民参加（市民フォーラム・シンポジウム・市民説明会等）】

主管課	担当係	市民参加の施策名	手続きの種類	施策の内容	市民参加の対象 ＊狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例第5条より
秘書広報室	広報広聴担当	市長への手紙	その他	市長が市民の市政に関する意見や質問、要望等を広く聴くことにより市政運営の参考にする。市長へ寄せられた市民からの手紙（専用はがき、手紙、ファックス、市ホームページ専用ホームからの電子メール等）は広報広聴担当が受付する。	その他、自主的に市民参加を行っている
		市長を囲む会	その他	従来の対面形式や、あらかじめテーマを設定する方法を見直し、より気軽に語り合うことができるよう、新たなスタイル（くるま座）で実施した。	その他、自主的に市民参加を行っている
政策室	協働調整担当	参加と協働・市民フォーラム	市民フォーラム	今後設置が予定されている市民活動支援センターの活用も見据え、市民活動に関する事例報告と事例報告者を囲んだ意見交換を通じて身近な市民活動の内容について理解と認識を深めるとともに、市民活動実践者とフォーラム参加者がお互いの考え方や意見を共有	その他、自主的に市民参加を行っている
政策室	協働調整担当	男女共同・フォーラム	市民フォーラム	男女共同参画社会の推進に向け、講演と映画により親しみやすい内容となることを意識して実施。 （平成25年度は「小金井市」「国立市」と連携し「多摩3市男女共同参画推進共同研究会」としてフォーラムを実施）	その他、自主的に市民参加を行っている
安心安全課	防犯防災係	狛江市地域防災計画（修正素案）に関する市民説明会	市民説明会	市の地域に係る防災に関し、市や関係機関が処理すべき事務又は業務の対抗を示した計画。	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更
安心安全課	防犯防災係	狛江市地域防災計画（平成26年修正）に関する市民説明会	市民説明会	市の地域に係る防災に関し、市や関係機関が処理すべき事務又は業務の対抗を示した計画。	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更
地域活性課	地域振興係	狛江市商店街振興プラン（素案）市民説明会	市民説明会	平成26～30年度の商店街振興プランの策定に関し、市民等の意見を取り入れる。	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更
児童青少年課	保育係	狛江市立保育園民営化説明会	市民説明会	平成28年度に民営化を予定している宮前保育園（複合施設）と平成29年度に民営化を予定している和泉保育園について、在園児保護者等から意見を聴取する機会を設けるために実施。	（4）大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更
まちづくり推進課	企画計画係	狛江市景観まちづくりワーキンググループ	ワークショップ	景観まちづくりビジョンに市民意見を反映させ、また市民参加で事業を実施することを目的に実施。	その他、自主的に市民参加を行っている
環境政策課	環境政策係	建築物の解体工事事前周知と環境配慮条例骨子・説明会	市民説明会	建築物の解体工事に際し近隣への周知と環境配慮について必要事項を定める条例制定に向け、広く意見を聴取するために実施。	（2）市政に関する基本方針、市民に義務を課し、市民の権利を制限する内容の条例の制定改廃
都市整備課	用地整備係	調布都市計画道路3・4・16号線事業説明会	市民説明会	調布都市計画道路3・4・16号線（電研前）の地元説明及び測量等事業方法	（4）大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更
市史編さん室	市史編さん担当	市史編さん事業方針（案）市民説明会	市民説明会	市史編さん委員会から答申を受けた市史編さん事業方針を市の方針とする。	（1）市の基本構想及び基本的事項を定める計画等の策定又は変更
公民館	事業係	市民センター改修案説明会	市民説明会	市民センター耐震に伴う改修案について	（4）大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定・利用や運営方針、又は変更

実施結果				報告書				
実施日・期間 場所	出席者・ 意見件数	開催予定の 公表	開催予定公表の媒体	報告書の有無	報告書の公表	非公表の理由	報告書の公表時期4週間以内	備考
通年	291件	公表した	ホームページ	有	公表	—	○	概ね4週間以内に、要旨をHPで公表 （市長への手紙取扱要綱第5条）
①2/12　PM7-9：二中 ②2/16　PM2-4：野川CC	①25名 ②24名	公表した	広報・ホームページ・その他	有	公表しなかった	—	—	市長が市民から聞いた意見・提案・課大刀について、各部にフィードバックできた。また、テーマが地域に関する内容であったので、町会・自治会に協力を依頼し、共同開催とした。
平成26年1月25日	44名	公表した	広報・ホームページ	有	公表	—	○	特に、市民協働の推進の観点からフォーラムを企画。企画当初から、市内の中学生や高校生に声掛けし、事例発表者として参加してもらうことができた。
平成26年2月9日	約300名	公表した	広報・ホームページ・その他	有	公表	—	○	集客に向けたPRとして、小田急電鉄㈱の協力を得て、狛江駅前に特大ポスターの掲示を行ったほか、下北沢駅、経堂駅、成城学園前駅にポスターを掲示し拡散に努めた。また、チラシの新聞折込、男女共同参画推進委員による口コミ等でも協力を得た。
①6/9 ②6/13	①0名 ②2名	公表した	広報・ホームページ	有	公表	—	○	
平成26年3月23日	5名	公表した	広報・ホームページ	有	公表	—	×	
①2/14 ②2/15	①1名 ②0名	公表した	広報・ホームページ・その他	有	公表	—	×	市内商工業者の参加しやすい時間帯での開催を心がけた。 大雪のため、参加者が少なかった。
7/10～3/27までで10回開催	延べ138名	公表した	広報・ホームページ・その他	有	公表	—	×	民営化ガイドラインの素案を配布した上で説明会を実施。市民意見を受けてガイドラインを修正した。 開催日や時間帯などは在園児保護者にアンケートを取り、また説明会中の保育対応を行った。
5/15～9/11までで5回開催	27名	公表しなかった	—	有	公表しなかった	—	○	参加委員を募集しても集まらない。 景観まちづくりビジョンについては、基本理念と基本方針として反映。市民参加事業として景観ラリーの提案をいただいた。
平成26年2月20日	1名	公表した	広報・ホームページ	有	公表しなかった	—	×	
平成25年6月28日	36名	公表した	広報・ホームページ・その他	有	公表	—	×	できる限り専門用語を使わず、分かりやすい説明を心がけた。
①6/9 ②6/12	①1名 ②1名	公表した	広報・ホームページ	有	公表しなかった	—	×	参加者からの意見提出なし
①2月11日 ②2月12日	①46名 ②32名	公表した	広報・ホームページ	有	公表	—	○	関心の高さが伺えた。

無作為抽出による審議会等の公募市民委員の募集結果について

■目的

無作為抽出による公募市民委員の募集及び選任を実施し、審議会等に参加する市民の固定化や委員の欠員を解消し、もって市民参加の裾野拡大を図ることを目的とする。

■根拠規程

狛江市無作為抽出による公募市民委員の選任に関する要綱（平成 26 年要綱第 60 号）

■募集期間

平成 26 年４月９日（水）から４月 24 日（木）まで

■募集方法

後期基本計画の指標に係る市民アンケート対象者（無作為抽出 2,500 人）に対する市民委員募集文書の送付と返信

■有効応募総数並びに審議会等別募集人数及び応募人数

有効応募総数 44 人

審議会等の名称	募集人数	応募人数
狛江市外部評価委員会	２人以内	26 人
狛江市男女共同参画推進計画改訂委員会	２人以内	10 人
狛江駅前三角地活用方針検討委員会	２人以内	23 人
狛江市子ども・子育て会議	１人以内	12 人
狛江市環境保全審議会	２人以内	24 人

■抽選日時及び場所

平成 26 年４月 30 日（水）午後２時～、行政資料室

■抽選結果通知等

・応募者全員に対し、文書により抽選結果等を通知
・各主管課長に対し当選者情報を通知
・各主管課での委嘱手続き（連絡、承諾書、委嘱起案、他）

公募市民委員アンケート集計結果

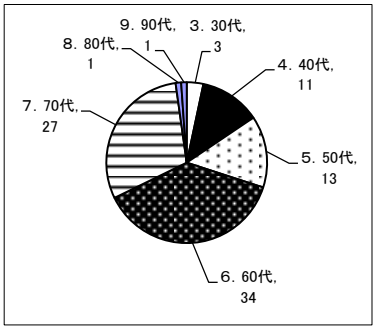
調査対象：平成25年度に市の審議会等（委員会・協議会等）に公募による市民委員として参加されていた方

調査期間：平成26年5月20日～6月6日

アンケート実績
送付数　128通　（H24：111　H23：131　H22：108）
回答数　90通　（H24：81　H23：90　H22：86）
回答率　70.3%　（H24：73.0　H23：68.7　H22：79.6）

○年齢について伺います。

	H25	
	回答数	%
1．10代	0	0%
2．20代	0	0%
3．30代	3	3%
4．40代	11	12%
5．50代	13	14%
6．60代	34	38%
7．70代	27	30%
8．80代	1	1%
9．90代	1	1%
計	90	



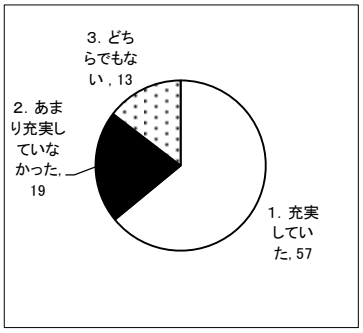
「60代」以上で70%、「30代」が3%、「10代」、「20代」はゼロ

◆会議の内容等について伺います。（いずれか一つに回答）

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1．充実していた	57	64%	60%	52%	46%	57%
2．あまり充実していなかった	19	21%	18%	23%	24%	22%
3．どちらでもない	13	15%	22%	25%	31%	21%
計	89					

「1.充実していた」の回答の割合が高く、逓増傾向。

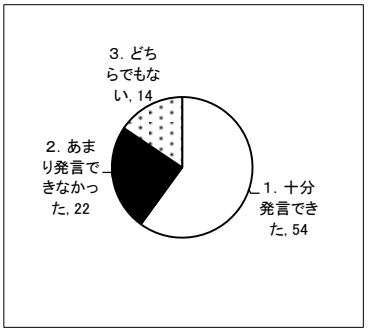


【3．どちらでもない・理由】

1	議論の内容が不明確で結局来年度にどのように進めるかということになった。
2	今回は方向性を決めただけであるため。
3	行政主導で市民感覚に近くないと感じた。
4	委員長が計画内容を把握しておらず、かつ委員会の目的に沿った議事運営が十分されていないと感じた。
5	内容が十分に理解できないまま進行されてしまった。
6	開催回数が少なく審議内容につながりもたいため、理解がとぎれとぎれになった。
7	これまでの活動について知る事が第一となり、今回の目当てについて初年度は十分取組めなかった。
8	委員としてもっと勉強してから質問をするべきだったと反省している。

○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1. 十分発言できた	54	60%	54%	49%	54%	47%
2. あまり発言できなかった	22	24%	34%	32%	30%	32%
3. どちらでもない	14	16%	11%	20%	16%	21%
計	90					

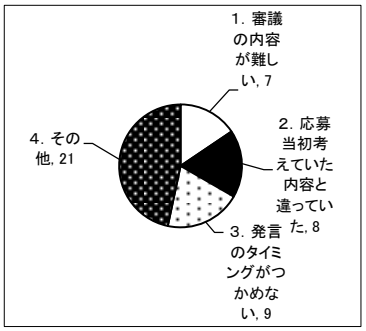


「1. 十分発言できた」の割合が60%と高い。

※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？（複数回答可）

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1. 審議の内容が難しい	7	16%	15%	8%	15%	15%
2. 応募当初考えていた内容と違っていた	8	18%	11%	20%	21%	24%
3. 発言のタイミングがつかめない	9	20%	43%	22%	21%	20%
4. その他	21	47%	30%	49%	42%	41%
計	45					



「4. その他」の割合が高い。

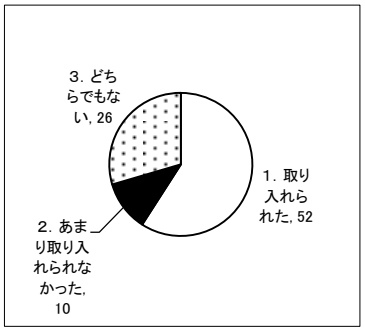
【4. その他】

1	見当違いな意見ではないかと考えてしまったため。
2	特定の委員の発言が多い
3	聞くことで理解する議題が多い。
4	これまでの経過と今後の方向性を見定めて意見すべきであると考えた。
5	委員数が多く発言時間が限られる。また、委員長や担当課からの説明が多かった。
6	市の考え方ややろうとする意欲が感じられず発言に至らなかった。
7	事務局の資料説明に大部分の時間を費やすため、発言や協議する時間が少ない。
8	欠席することがあり内容がきちんと把握出来ていないことがあった。
9	会議の内容を理解するのに時間を要した。
10	前もって勉強し発言すべき内容を用意すればよかった。
11	発言の場面と時間が少なかった。
12	過去からの長期的課題であるにも拘らず、市の事務局が受動的な態度に終始していた。
13	前期からの繰越案件について、新たな委員としては当初からの経緯の把握が難しかった。
14	専門家や関係者が多く、また、委員も男性が多い。
15	委員任期が浅いため発言を控えた。
16	ベテラン委員の発言が充実していた。
17	意見を投げかけても市の事務局の反応がないことが多かった。

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1. 取り入れられた	52	59%	60%	54%	47%	55%
2. あまり取り入れられなかった	10	11%	21%	24%	16%	19%
3. どちらでもない	26	30%	19%	22%	37%	26%
計	88					

「1. 取り入れられた」の割合に大きな変化はない。

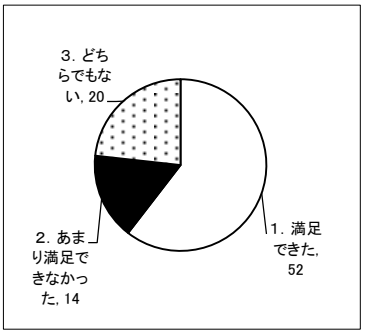


【3. どちらでもない・理由】

1	結論が明確に出ない会議であったため。
2	自分の発言も少なく、取り入れられるほど話していない。
3	内容にもよるし、討議の中でより良い意見が出てくれば良いと思うので気にしていない。
4	取り入れられた部分もあり、そうでない部分もある。
5	審議内容が幅広く、すべて取り入れることは困難。
6	個人の発言というより、所属団体等の立場から発言した。
7	内容の把握ができておらず、感想を述べるにとどまった。
8	自分の意見が取入れられるという内容の会議ではないように思う。
9	今はまだ聞いているばかり。
10	取り入れられるかどうかに重きを置いていない。

○審議会等がまとめた答申（提言・報告）内容について、どのように思いますか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1. 満足できた	52	60%	65%	46%	48%	56%
2. あまり満足できなかった	14	16%	18%	18%	13%	24%
3. どちらでもない	20	23%	17%	36%	39%	19%
計	86					



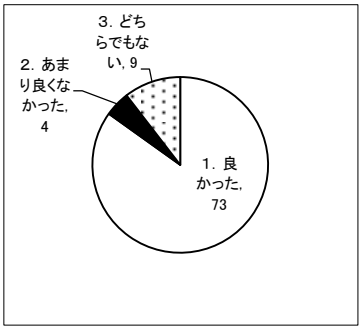
【3. どちらでもない・理由】

1	まだ結論が出ていない。
2	画期的な部分もありながら、保守的な部分もあった。
3	結果的に協議会の答申が振り出しに戻ったことが残念。
4	決まった内容を確認する程度の内容で、満足できるようなものではなかった。
5	答申内容が通知されていない。
6	審議会が取り扱う内容について自分自身が深く考えていなかった。今回の活動が大きな教訓となった。
7	答申は立派だが、詳しい説明が欲しい。

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1．良かった	73	85%	78%	84%	82%	85%
2．あまり良くなかった	4	5%	9%	4%	4%	5%
3．どちらでもない	9	10%	13%	12%	15%	9%
計	86					

「1．良かった」の割合が高い。



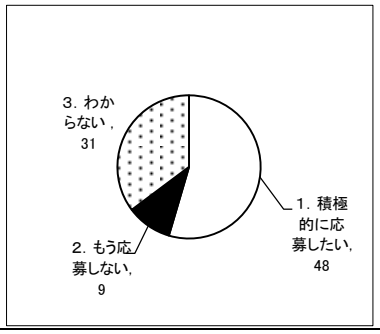
【3．どちらでもない・理由】

1	プロジェクト会議とは異質な構成なので真剣さに疑問を感じた。
2	とりあえず行政のウォッチングができたのは良かった。
3	自身が勉強不足で内容の理解に苦労したが、有意義だった。

○今後、同じ審議会等または他の会議に市民委員として応募しますか？

	H25		H24	H23	H22	H21
	回答数	%	%	%	%	%
1．積極的に応募したい	48	55%	55%	54%	46%	51%
2．もう応募しない	9	10%	11%	8%	4%	8%
3．わからない	31	35%	34%	38%	50%	41%
計	88					

前年と同様。



【2．もう応募しない、3．わからない　理由】

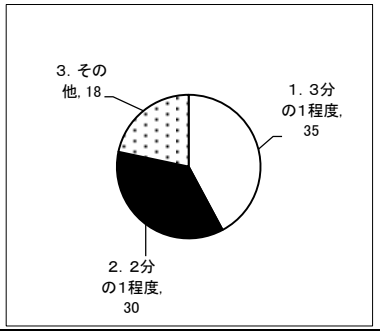
1	長期であり、若い方に替わったほうがよい。
2	特定の委員が長く続けることは良くないが、一定の知見を持ったメンバーによる継続性も必要。バランス。
3	自分が関心をもち、知りたいと思う委員会ならば参加したい。
4	年齢的に、体調がすぐれない。
5	介護などで今後の予定がわからない。
6	多忙のため。時間が取られることが困る。
7	失望したため。
8	審議内容による。自分の持っている知識等の領域を越えてしまうと内容が理解できず迷惑をかけるため。
9	会議時間が夜なので。
10	委員会のなかで、今後は団体等の利益に関わらない市民を求めるという方針が決定されたため。
11	欠席することが多かったため、検討中。
12	誰もいなければ応募する。

◆審議会等の公募市民委員数（割合）について伺います。（いずれか一つに回答）

〇全委員数に占める公募市民委員数の割合は、どの程度が適当と思いますか？

	H24		H24
	回答数	%	%
1．3分の1程度	35	42%	39%
2．2分の1程度	30	36%	39%
3．その他	18	22%	23%
計	83		

「1．3分の1程度」が微増。



【3．その他・理由】

1	その時の会議による。
2	8割。
3	3分の2以上。
4	全員公募委員とし、学識者や有識者はアドバイザーとして加わるべき。

〇ご意見・感想等、自由にご記入ください。

1	市民委員となり市政を身近に感じられるようになった。
2	このアンケートがどう反映され、公表されているのか知りたい。
3	性質上、本諮問機関への案件付議がいつどのような内容で起こるか予測がつかない。そのため、委員にはこうした状況に対応できるための一定の知識が必要であり、それを担保できる仕組みが必要。
4	委員長を互選する際、適任者がわかりかねる。事前の打合せも不十分である。
5	市民委員の特定化の解消が必要。
6	審議会委員となり新たな知識を得て、市民として関わり勉強になった。
7	他の委員の発言を聞いていないためか、同趣旨の発言をされることが多い。
8	行政主導型の審議会で、日数も少なく消化不良。
9	資料が事前に欲しい。
10	行政の立場や職員の努力を理解することに役立つ。
11	前年度委員会で満足のいく報告が出せた。実践で進めて欲しい。
12	会議中の発言で、役所的な言い回しが理解し難い。
13	意見があまり出なく内容が十分理解されないまま進んでしまう。資料が事前に欲しい。
14	これまで市の推薦で長期に亘り委員を務めてきたが、市の方針が変わったため今後は退任する。
15	資料の配布が遅く審議時間が足りない。
16	会議の時間や回数が限られていて残念。
17	様々な意見を聞き、自分の考えを深める体験となった。
18	学識者や有識者には、さらに情熱を持って取組んでいただきたい。
19	公募市民は重要。開かれた会議で活発な意見交換が望まれる。
20	現市長は、公園緑地整備にも積極的に取組む姿勢や早々の組織体制構築に期待したい。
21	委員会が始まったばかりでアンケートの判断がしにくい。
22	一般市民が参加したくなる呼びかけをして欲しい。参加して大事な委員会だと感じる。
23	市長が新たな委員長を任命したほうが、良いのではないか。
24	委員が継続したいと思うような魅力を。市民委員の事前研修や学習の場などがあるとよい。
25	事務局の責任ある立場の方（部長、課長）が同時に異動してしまうようでは、審議会の議論の継続性に疑問を感じる。
26	開催予定を早めに決定して欲しい。
27	公募市民以外では、委員長以外の発言が少ない。
28	事務局は他の自治体の事例研究が少ない。担当者の勉強不足。
29	評価できる議題とできない議題がある。
30	今後も委員を継続し、日頃から当該分野に目を向けて努力していきたい。
31	会議内容が事前に決まらないため、会議の運営スケジュールがタイト。
32	市民委員に会議の日程が伝わっていない時があった。
33	公募市民委員の役割を意識していなかった。公募委員の役割を明確にして欲しい。
34	市民の意見を聞かれることを期待して委員となったが、諮問もなく要領を得ないまま一年間が過ぎた。
35	公募市民委員の継続性が重要。年齢も考慮した募集を。
36	市が本当に市民のためを思って対応したか疑問である。決定を急いだのではないか。
37	会議の進め方について話し合えればよかった。
38	市民委員の存在は市民の声が反映されて良いと思う。色々な世代が住みやすいまちになると良い。

平成 25 年度市民協働事業実施状況

１．市民協働事業の種類

市民協働事業：市の実施期間と市民公益活動を行う団体が、行政活動等について共同して取組む事業

①財政的支援・・・・・市が団体に資金援助を行う（補助金）

②参入の機会提供・・・市と団体が「委託」「協定」等を交わし、協力して実施する

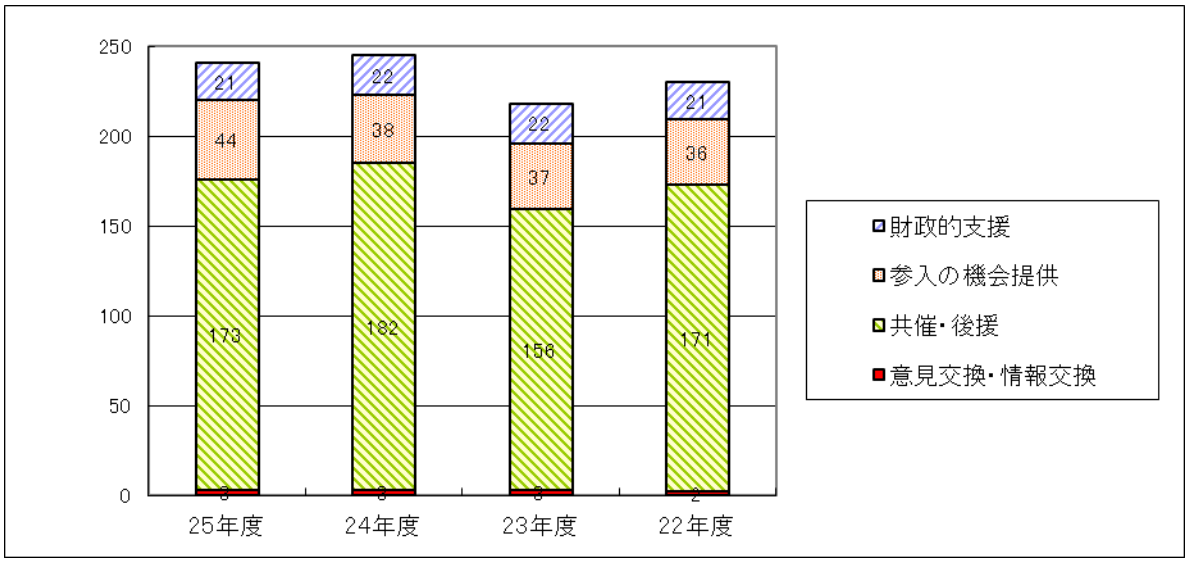
③共催・後援・・・・・市が団体の事業の趣旨に賛同し、共同開催者としてその事業を実施する（共催）

市が団体の事業の趣旨に賛同し、その開催を奨励する（後援）

④意見交換・情報交換・・・・・・市民ニーズに関する情報や団体の持つ専門的な情報等を交換し合う（懇談会、ワークショップ等）

＜市民協働事業総件数＞　（件）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
財政的支援	21	22	22	21	20	22
参入の機会提供	44	38	37	36	39	38
共催・後援	173	182	156	171	158	174
意見交換・情報交換	3	3	3	2	2	2
計	241	245	218	230	219	236



２．財政的支援（補助金等）

平成 25 年度事業件数：21 件（すべて補助金）

☆注目ポイント

「狛江市市民公益活動事業補助金（スタート補助金・チャレンジ補助金）」

平成 25 年度制度改正

・スタート補助金：上限５万円、書類選考

・チャレンジ補助金：上限 20 万円、選考会・報告会へ出席

＊スタート補助金を創設し、より多くの団体が申請できる環境を整え、市民団体活動の活性化を図った。

＜全体の交付団体数＞　（団体）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
補助金	99	94	94	107	104	124

＜事業分野別件数・交付額＞

	25 年度		24 年度	
	件数	交付額（円）	件数	交付額（円）
保健・医療・福祉	5	50,277,073	6	74,450,544
まちづくり	4	4,135,247	4	3,793,333
学術・文化・芸術・スポーツ	4	1,471,000	4	1,471,150
環境保全	1	270,000	1	270,000
災害援護	3	753,000	3	693,000
地域安全	3	2,342,896	3	2,327,776
国際交流	1	380,000	1	380,000
計	21	59,629,216	22	83,385,803

３．参入の機会提供（委託、協定等）

＜事業件数の推移＞　（件）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
委託	32	26	26	25	29	29
協定	11	11	10	10	9	8
その他	1	1	1	1	1	1
計	44	38	37	36	39	38

＊その他は、「狛江市立古民家園指定管理業務」

☆注目ポイント

〇障がい者団体への委託を様々な作業について新規に開拓

「障がい福祉サービスニーズ調査封入封緘委託」

「ヘルプカード封入委託」

「議事録作成委託」

「福祉タクシー券案内文及び難病者福祉手当現況届封入委託」

＊「障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を策定し、積極的に委託し、市内の障がい者団体の活性化を図った。

〇狛江六小が校庭芝生の維持管理（アドプト制度）を開始

「狛江市立学校校庭芝生の維持管理」狛江第六小学校グリーンプロジェクト

＊平成 25 年度から実施した狛江第六小学校の校庭の一部芝生化に伴い、ＰＴＡ、地域住民を中心に維持管理団体を結成し、活動を始めた。

＜全体の参入団体数＞ （団体）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
委託	37	30	30	34	36	31
協定	32	27	23	25	23	25
その他	1	1	1	1	1	1
計	70	58	54	60	30	57

＜事業分野別件数・支出額＞

	25 年度		24 年度	
	件数	支出額（円）	件数	支出額（円）
保健・医療・福祉	9	38,177,281	4	25,277,097
社会教育	1	500,000	1	500,000
まちづくり	16	68,246,456	16	71,426,024
学術・文化・芸術・スポーツ	11	17,798,860	10	20,091,340
環境保全	5	4,342,327	5	4,389,487
国際交流	1	400,000	1	400,000
青少年健全育成	1	160,000	1	160,000
計	44	129,624,924	38	122,243,948

４．共催・後援

＜事業件数の推移＞　（件）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
共催	42	39	33	32	21	23
後援	131	143	123	139	137	151
計	173	182	156	171	158	174

＜全体の団体数＞　（団体）

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
共催	36	38	28	29	20	19
後援	84	85	80	95	92	94
計	120	123	108	124	112	113

※同一団体が複数の共催や後援を受けている場合があるため、団体数は件数よりも少なくなっている。

５．意見交換・情報交換

＜事業件数の推移＞

	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度
ワークショップ	1	1	1	0	0	0
懇談会	2	2	2	2	2	2
計	3	3	3	2	2	2

☆注目ポイント

ワークショップ「避難行動要支援　地域における個別計画の取り組み方」

平成 24 年度からの取組みを引続き実施し、市内の地域団体とワークショップを行った。

内容）避難行動要支援者の地域における支援組織づくりに向けたワークショップ
（中高層住宅におけるモデル実践として）
団体）狛江ハイタウン団地管理組合

＜参考＞平成 24 年度の取組み
内容）災害時要援護者支援検討委員会の実践としてのワークショップ
団体）駒井町会

＊懇談会→「西河原公民館利用者懇談会」、「中央公民館利用者懇談会」

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
政策室	補助金	国際交流	国際交流事業に関する補助金	市民主体の国際交流事業の充実及び発展に資することを目的とする。 〇狛江市国際交流事業に関する補助金交付要綱	狛江市国際交流協会	550,796	380,000	市10/10	「初釜のつどい」、「日本語スピーチ大会」など、各事業で多くの外国人の参加があった。 H24年度に開設したホームページを活用し、広く情報発信できた。
安心安全課	補助金	地域安全	調布地区防犯協会等に対する補助金	調布地区防犯協会等が行う各種防犯運動及び看板設置等の事業、青少年野球大会・剣道大会等の事業、防犯に関する映画会・座談会等の事業、防犯運動用雑誌の発行、その他青少年の非行防止等事業に対して補助を行う。 〇狛江市調布地区防犯協会等に対する補助の基準	調布地区防犯協会 調布地区防犯協会狛江支部連合会	6,341,082	700,000	市10/10	・調布地区防犯協会 街頭、侵入犯罪抑止対策の推進、ひったくり、車上狙い防止対策、薬物乱用防止対策の推進、安全安心まちづくり防犯のつどい、青少年非行防止街頭パトロール、年末警戒詰所激励訪問、振り込め詐欺防止キャンペーン ・調布地区防犯協会狛江支部連合会 「安心安全なまち狛江」を目指し、本部・警察署との連携による駅頭活動、市と生活安全対策協議会主催の防犯キャンペーン活動、安心安全パトロールの実施、歳末特別警戒、各種イベントの警戒、防犯診断等の事業展開を行った。
安心安全課	補助金	災害援護	防火防災協会補助金	火災、水害その他の災害未然防止及びこれらに必要な防火防災思想の普及並びに防災行動力の向上を図り、災害の無い明るい街づくりと発展に寄与する活動を行う狛江防火防災協会に対して補助を行う。 〇狛江防火防災協会及び狛江市防災会に対する補助の基準	狛江防火防災協会	1,154,000	120,000	市10/10	火災予防運動のポスター･チラシ･パンフレット等を購入し、町会・自治会・防災会等に配付し防火防災思想の普及を図った。春・秋の火災予防運動期間中実施する危険物輸送車両・駅舎・車両にかわる査察及び防火のつどいを支援した。防火防災広報事業の推進を図った。
安心安全課	補助金	災害援護	防災会支部運営費補助金	住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震・その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした活動を行う狛江市防災会に対して補助を行う。 〇狛江防火防災協会及び狛江市防災会に対する補助の基準	元和泉１町目支部、元和泉２，３丁目支部、狛江団地支部、北和泉支部、覚東支部、小足立支部、和泉第１支部、多摩川住宅イ号棟支部、上和泉支部、駄倉支部、セントラルハイツ支部、銀行町支部、多摩川住宅ニ号棟支部、狛江ハイタウン支部、猪方支部、岩戸支部、駒井支部、和泉多摩川支部、中和泉５丁目支部	513,000	513,000	市10/10	狛江市合同水防演習及び狛江市総合防災訓練への参加、地域自主訓練実施、春・秋の火災予防運動への参加、防災市民リーダー研修会の実施、防災講演会への参加、防災会視察研修、支部長・婦人部長会議の実施
安心安全課	補助金	災害援護	避難所運営協議会補助金	避難所運営協議会の事業に要する経費の一部を補助することにより、自主防災活動の推進を図り、市民の防災行動力の向上に寄与することを目的として交付する。 〇狛江市避難所運営協議会補助金交付要綱	狛江第二中学校避難所運営協議会 狛江第六小学校避難所運営協議会 （新規）和泉小学校避難所運営協議会 （新規）狛江第三中学校避難所運営協議会	122,619	120,000	市10/10	運営協議会等の会議の開催、避難所開設訓練、勉強会や意見交換、各班マニュアルの検討等を実施

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
地域活性課	補助金	まちづくり	狛江市市民公益活動事業補助金（スタート補助金・チャレンジ補助金）	先駆的な活動又は特色ある事業を実施する狛江市の市民公益活動団体（以下「団体」という。）の事業に対し、その経費の一部について補助金を交付することにより団体の成長及び発展を図る。 〇狛江市市民公益活動事業補助金交付要綱	〈スタート補助金〉 −ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだ−ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会 〈チャレンジ補助金〉 吃音サポート『ジークフリーツ』 チーム ピースチャレンジャー狛江支部 ミュージカルCoCo～ おにぎり少年団	2,585,080	850,000	市10/10	平成16年度よりスタートし、今回で10回目。平成25年度から、従来の制度を「チャレンジ補助金」として継続し、設立3年以内の団体を対象に、選考会及び報告会の出席の義務を緩和し、書類による選考を行う「スタート補助金」制度を導入。1事業の交付額は、「スタート補助金」が5万円、「チャレンジ補助金」が上限20万円。3団体がスタート補助金に応募し、1団体に交付。4団体が「チャレンジ補助金」に応募し、3団体に交付された。補助金により、市内で行われている先駆的、あるいは特色ある活動に対して援助ができ、これらの事業を行う団体の成長及び発展の一助となった。
地域活性課	補助金	まちづくり	コミュニティ活動活性化助成金	町会、自治会、集合住宅の管理組合及び町会等設立準備会に対し、狛江のまちづくり及び地域社会づくりに資する活動を対象にコミュニティ活動活性化助成金を交付し、もって町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図る。 〇狛江市コミュニティ活動活性化助成金交付要綱	小足立町会、市民グランド東町会、覚東町会、北久保町会、狛江団地自治会、元和泉1丁目町会、狛江ハイタウン団地管理組合法人、和泉本町一丁目町会、中和泉5丁目町会、狛江セントラルハイツ管理組合、神代団地自治会、パーク・ハイム狛江管理組合法人、猪方町会、駒井町会、銀行町親和会、元和泉2・3丁目町会、岩戸町会、中和泉1・2・3・4丁目町内会（設立準備会助成金）	5,999,515	2,168,741	市10/10	平成25年度の交付団体は18団体で、前年度よりも交付団体が増加した。 補助金の交付により、地域の活性化に寄与することができた。 中和泉1・2・3・4丁目町内会については、設立準備会助成金を活用し、新規の町会（中和泉町会）を設立するに至った。
地域活性課	補助金	まちづくり	観光協会補助（組織基盤強化補助金）	狛江市の観光行政の推進を図るため、狛江市観光協会の組織基盤強化を目的とする。 〇狛江市観光協会組織基盤強化補助金交付要綱	狛江市観光協会	1,494,586	1,016,506	市10/10	狛江市観光協会の強化策を検討し、新規会員の加入、推奨商品承認、会員による意見交換会、台風に伴うボート等一時撤去の実施を行った。
地域福祉課	補助金	保健・医療・福祉	地域福祉推進事業補助金	市内の非営利の市民団体が実施する福祉サービス事業の普及・拡大を図るとともに、高齢者・障がい者等の在宅福祉サービスなどの普及及び拡大を図る。 〇地域福祉推進事業補助要綱 〇地域福祉推進事業補助要綱に係る取扱基準	NPO狛江共生の家 NPO狛江さつき会「家族会」 狛江団地自治会 サポート狛江 教育ネットKOPPIE 狛江市遺族会	1,065,905	900,405	5団体 都・市1/2ずつ 1団体 市10/10	平成25年度は新規団体が3団体加わり、計6団体に助成した。各団体とも、研修会・講演会の開催等が行われた。障がい者や高齢者等の社会参加を支援するための活動費の一助になった。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
高齢障がい課	補助金	保健・医療・福祉	老人クラブ補助金	老人クラブ会員の教養の向上、健康の増進、レクレーション等の活動、地域社会との交流を目的とし、老人クラブの活動を通じて地域福祉の増進を図る。 〇狛江市老人クラブ補助金交付要綱	狛江市老人クラブ連合会、第一長寿会、第二長寿会、第三長寿会、多摩川六十路会、南部長寿会、いづみ長寿会、あづま長寿会、第五長寿会、第六長寿会、第七長寿会、和泉本町健康クラブ、駒井町健康クラブ、若草会、狛江団地健康クラブ、はなみずき会、百の会、かわせみ会	5,324,668	4,387,668	国・都・市1/3ずつ	地域清掃等社会奉仕活動、一人暮らし高齢者訪問等の友愛活動、寝たきり予防の健康づくり事業の開催など、老人クラブ3大事業（社会奉仕・友愛活動・健康増進）が達成された。
高齢障がい課	補助金	保健・医療・福祉	障がい児通所支援事業	地域デイグループ事業を実施していた法人が児童福祉法上の通所施設に移行した場合の激変緩和の対策として、家賃の一部を補助することにより、移行後の安定した事業継続を保障する。 〇狛江市障がい児通所支援事業補助金交付要綱	えるぶ ゆめぽっと ハッピーライフフォーエバー 福祉ネット「ナナの家」	7,347,000	6,939,000	市10/10	家賃補助による財政的支援を行うことで、市内で初の法に基づいた民間の児童通所事業所が開設（法内移行）された。安定した事業継続を保障するためにも、次年度以降も補助が必要である。
高齢障がい課	補助金	保健・医療・福祉	ふれあいサロン（夢）運営事業	ふれあいサロン（夢）の運営費を補助し、心身障がい者の就労支援を図る。 〇狛江市心身障害者団体等事業補助金交付要綱	狛江市障害者団体連絡協議会	6,191,450	3,226,000	都・市1/2ずつ	喫茶室の経営を通して、心身障がい者の就労、社会参加、市民交流の機会を持つことが出来た。市内の「こまえ工房」、「ひかり作業所」、「就労支援事業所メイ」などからも広く利用者を受け入れ、心身障がい者の雇用促進・社会復帰の援助を図った。
高齢障がい課	補助金	保健・医療・福祉	狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業	平成22年度までに小規模作業所から移行した事業所に対して、事業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の日中活動を確保することで、障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。 〇狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱	NPO狛江さつき会 足立邦栄会 光友会 狛江市社会福祉協議会	34,824,000	34,824,000	都10/10	事業所の安定的な運営と障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることができた。
児童青少年課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	青少年健全育成事業補助金	各育成委員会に対し、青少年健全育成事業における経費の一部又は全部を補助することにより、市民主体の青少年健全育成事業の充実及び発展に資することを目的とする。 〇狛江市青少年健全育成事業補助金交付要綱を根拠条文とする。	狛江市青少年第一～第四育成委員会	418,432	395,000	市10/10	補助金により、各育成委員会主体とした活動の活性化、青少年健全育成事業の充実及び発展に資することが出来ている。
環境政策課	補助金	環境保全	緑化推進事業協議会補助	市内緑化を図るため、花卉、植木類の展示及び即売を実施し、緑化運動の推進を図る。 〇狛江市緑化推進事業協議会に対する補助の基準	緑化推進事業協議会	964,543	270,000	市10/10	昭和48年度より緑化推進事業がスタートし、年2回の植木即売会を開催しており、市内の緑化に努めている。市内保育園等に花卉の植栽を行っている。

財政的支援（補助金等）

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
まちづくり推進課	補助金	まちづくり	地区まちづくり協議会助成金	一定の要件を満たした、地区のまちづくりに関する活動を行っている団体に支援をすることにより、地区のまちづくりを推進し、協働のまちづくりの実現を図る。 〇狛江市まちづくり条例 〇狛江市まちづくり条例施行規則 〇地区まちづくり協議会、地区まちづくり準備会及びテーマ型まちづくり協議会への支援に関する要綱	多摩川住宅〔街づくり（地区計画）協議会〕	632,838	100,000	市10/10	当該団体では、多摩川住宅地区計画策定へ向けて、定期的な役員会等を行い、課題の把握と目標・方針について検討協議を行っている。
道路交通課	補助金	地域安全	街路灯電気料金補助金	私有道路内に設置されている街路灯のなかで、市管理外の街路灯について、市長の認定に基づき電気料金の補助金を交付する。 〇狛江市街路灯設置要領	狛江団地自治会 多摩川住宅イ号棟自治会 多摩川住宅ニ棟団地管理組合法人 神代団地自治会	2,367,182	742,896	市10/10	各団地敷地内の街路灯266基に対し、20W街路灯定額料金相当分を補助した。
道路交通課	補助金	地域安全	調布交通安全協会等に対する補助金	交通安全協会等が行う交通安全に関する各種教室、講習会事業及び交通安全思想の普及啓発活動に対して補助を行う。 〇狛江市調布交通安全協会等に対する補助の基準及び狛江市補助金等交付規則	調布交通安全協会 調布警察署内園児交通安全防犯連絡会	3,107,203	900,000	市10/10	平成25年の狛江市において交通事故発生件数は175件で、昨年度と比較し減少した。今後も更に減少させるため各種キャンペーン広報活動を活発に行い事故防止に努めていく。 園児交通安全事業では交通安全講習会や防犯講習会への参加園児に対しミニ信号機、ビデオ、紙芝居等により、交通安全教育を実施。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	クラブに対して、クラブの運営と活動の活性化を支援するため、活動に要する経費の一部を補助することにより、市民のスポーツの普及・振興と地域コミュニティの形成や青少年の健全育成に寄与することを目的として交付する。 〇狛江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金交付要綱	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ	1,534,937	500,000	市　10/10	いつでもどこでもだれでもスポーツや文化活動に親しむことができるよう、様々な教室の企画、運営を行っている。 平成25年度は初心者でも始めることができる「ノルディックウォーキング教室」を通年事業とし、新たに「ビーチボール教室」を加え、積極的に活動している。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	郷土芸能保存会補助	狛江市文化財保護条例に基づき、市指定文化財（市技芸）の保持・継承に当っている保持者（保存会）に対し、伝統芸能の継承を図 るため、その管理等に要する経費の一部を補助する。 〇狛江市文化財保護条例	小足立ばやし保存会	350,740	300,000	市10/10	小足立ばやしの保存と継承に必要な獅子頭の購入と締太鼓の修繕が可能となり、お囃子に必要な道具が整備できた。保存会の活性化と小足立ばやしの保存、継承者の育成に取り組む環境が整備が整いつつある。
社会教育課	補助金	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業補助金	子どもの生命と安全を確保するための活動の充実及び発展に資することを目的とする。 〇狛江市こどもかけこみ110番事業に関する補助金交付要綱	狛江市立学校PTA連合会	277,020	276,000	市10/10	PTA連合会かけこみ110番実行委員会の要請活動により、該当事案もなく抑止効果を発揮している。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性課	□委託	まちづくり	NPO情報誌作成委託	市内で様々な分野において活躍している市民活動団体の活動をより一層推進するため、活動に必要な行政情報及び団体活動を行うにあたって共有する情報等を掲載するNPO情報誌「わっこ」の発行を団体へ委託する。	特定非営利活動法人k-press	7,160,496	7,160,496	情報誌の発行によって、市民活動団体が活動を行うにあたっての情報発信媒体となることができ、団体のコミュニティ活動を活性化することができた。また、情報誌の作成を市内NPOへ委託することにより、地域に密着した新鮮な情報の提供ができた。
地域活性課	委託	まちづくり	根川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	根川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	駄倉地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	駄倉地区センター協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	谷戸橋地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	谷戸橋地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	和泉多摩川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	和泉多摩川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	協定	まちづくり	岩戸地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	岩戸地域センター運営協議会	13,291,244	12,404,510	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「そば打ち体験教室」、「夏休み子ども教室」、「利用者発表会」等を行った。 休館に伴う「お別れコンサート」を11月30日に開催し、100名の参加があった。 その他、広報紙の発行や委員研修等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	上和泉地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	上和泉地域センター運営協議会	18,768,840	15,555,580	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、上和泉地域センターまつり、「避難訓練、初期消火訓練、様々な講座やスポーツ大会等が行われた。その他、広報誌の発行や利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	南部地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	南部地域センター運営協議会	13,115,308	11,464,022	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「南部武遊伝」、「子ども七夕会」、「おはなし会」、「郷土料理教室」、「リニューアルコンサート」等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	野川地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、地域センターの管理・運営業務を委託する。	野川地域センター運営協議会	14,714,502	14,011,970	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「ともしび音楽隊コンサート」、「子供映画会」、「男の料理教室」等を行った。 年1回のセンターまつりを10月6日に開催し、34団体の参加があった。 その他、広報紙の発行、利用者懇談会等を行った。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性課	委託	まちづくり	市民まつり事業委託	狛江市民まつりを通じて郷土愛を培い、連帯のあるまちづくりに寄与する。	市民まつり実行委員会	9,701,589	5,000,000	来場者数67,000人。平成25年度は、仮面ライダーガイムによるキャラクターショーを行った。来場者が前年度よりも1,000人少ない結果となったが、全体を通して盛況であった。パレードにおいて、交通規制をかけていない道路に侵入してしまうトラブルがあった。まつりの開催により市の活性化・市民間の連帯及び郷土愛の醸成につながった。また、市民まつり各会場で、東日本大震災・大島町台風26号土石流災害の復興支援の一環として以下を実施した。 ・募金箱を設置し、訪れた方々に広く義援金を募った。 ・「鏡開き」マス１個1,000円で販売、内500円は東日本大震災の義援金とした。 ・出店区画を使用し、石巻市の物産販売を行った。
地域活性課	委託	まちづくり	ふるさと自然体験事業委託	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）の豊富で雄大な自然を体験することにより、社会性や自立性、感性を向上させる。	社会福祉法人雲柱社（委託契約を締結）	750,000	750,000	平成25年８月７・８・９日実施。ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）において地元の子どもたちとキャンプやオリエンテーション等を行い、社会性や自立性、感性が向上した。狛江市在住小学4・5・6年生は29名参加。
地域活性課	委託	まちづくり	よりあいっこ事業委託	狛江市民とふるさと友好都市である新潟県長岡市川口地域（旧川口町）の住民との相互の交流及び理解を深めることを目的とする。	よりあいっこ実行委員会	460,564	200,000	平成25年９月14・15日実施。ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域（旧川口町）において、地元の方とともに郷土料理づくり・蕎麦打ち・陶芸・自然散策等の体験型交流を行い、住民との相互の交流及び理解を深めることができた。23名参加。
地域活性課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	「音楽の街－狛江」推進事業委託	「音楽の街－狛江」をキーワードに、市民と共に文化・芸術活動の推進を図る。	狛江市文化振興事業団	2,512,063	2,501,860	慈恵医大第三病院、市内保育園（三島・宮前・駒井・和泉）および市内複合介護施設（わらく）において、エリアコンサートを行った。 一中、四中、三小、六小、和泉小の計5校において、学校公演を行った。 新たな取組として、特別支援学級を中心として音楽交流事業および校歌収録事業を実施し、これまでの枠を超えた新たな音楽のあり方を推進した。
地域活性課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	「絵手紙発祥の地－狛江」推進事業委託	狛江市が「絵手紙発祥の地」であることにちなみ、絵手紙の魅力を伝え、より広める。	狛江市文化振興事業団	840,327	746,000	絵手紙教室事業を27事業実施し、参加者は計634名であった。 新たな取組として、市役所2階ロビーなどで開催する「絵手紙ひろば」を開始した。誰でも気軽に参加できる環境で初心者を対象に絵手紙教室を行うことで、広く市民にPRすることができた。 子育て世代を対象にした絵手紙教室や、狛江－絵手紙サポーターのつどいなどの事業も試験的に開催し、参加者に好評を得ることができた。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	福祉だより封入封緘委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、また、障害者優先調達推進法の観点から見た障がい者施設の活用として、市内の障害者手帳所持者及び難病医療費助成の該当者へ送付している「福祉だより」の封入封緘を委託した。	社会福祉法人足立邦栄会	14,600	14,600	平成25年度は1回発行し、封入封緘委託を行った。 市内の障がい者施設の活性化に寄与し、市内の障がい者の就労活動の向上を図ることができた。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	（新規）障がい福祉サービスニーズ調査封入封緘委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、また、障害者優先調達推進法の観点から見た障がい者施設の活用として、障がい福祉サービスのニーズ調査送付用帳票の封入封緘を委託した。	社会福祉法人足立邦栄会	4,004	4,004	市内の障がい者施設の活性化に寄与し、市内の障がい者の就労活動の向上を図ることができた。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	（新規）ヘルプカード封入委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、また、障害者優先調達推進法の観点から見た障がい者施設の活用として、市内障がい者に活用してもらうヘルプカードの封入封緘を委託した。	社会福祉法人足立邦栄会 社会福祉法人光友会	64,153	64,153	市内の障がい者施設の活性化に寄与し、市内の障がい者の就労活動の向上を図ることができた。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	（新規）議事録作成委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、また、障害者優先調達推進法の観点から見た障がい者施設の活用として、自立支援協議会会議における議事録テープ起し作業を委託した。	NPO狛江さつき会	102,000	102,000	市内の障がい者施設の活性化に寄与し、市内の障がい者の就労活動の向上を図ることができた。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	（新規）福祉タクシー券案内文及び難病者福祉手当現況届封入委託	市内の障がい者通所施設の活性化、就労活動の向上を目的として、また、障害者優先調達推進法の観点から見た障がい者施設の活用として、福祉タクシー券案内文及び難病者福祉手当現況届の封入封緘を委託した。	社会福祉法人足立邦栄会	7,740	7,740	市内の障がい者施設の活性化に寄与し、市内の障がい者の就労活動の向上を図ることができた。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	狛江市地域活動支援センター（Ⅰ型）・狛江市障害者相談支援事業	障がい者の地域社会における生活の場を確保し、日常生活における支援・相談等を行うとともに、その自立と社会参加の推進を図る。	NPO狛江さつき会	23,240,000	23,240,000	相談支援2135件、生活支援（フリースペース利用など）3908名、当事者自主活動支援及び地域交流事業575名、ピアカウンセリング・グループワーク186名、その他連絡調整会議などネットワーク形式のための事業を行った。
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	（新規）狛江市地域活動支援センター（Ⅲ型）	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行うことを目的とする。	特定非営利活動法人えるぶ	12,320,000	12,320,000	平成25年度から開始された事業であり、延べ3,213名の利用者数となった。活動の提供内容は以下の3つである。 ①家庭・職場以外の第3の場としての居場所活動・余暇活動 ②障がいのあるない者が共に活動し、対等な仲間作りを目指す共生共育活動 ③自立及び社会参加に関する活動
高齢障がい課	委託	保健・医療・福祉	会食会事業	高齢者に対して昼食及び食後のレクレーション等を実施する事によって、外出の機会と人との出会いの機会を提供し、もって孤独感の解消と生きがいづくりに寄与する。	ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ｱｲ ときの会 ｸﾞﾙｰﾌﾟのがわ 共生の家	2,020,004	2,011,432	4団体中3団体が月1回実施、1団体は月4回（8月から事業開始）実施している。 延べ2,149人が参加した。 元気高齢者の介護予防及び参加者間での交流ならびに引きこもり高齢者等の外出機会の促進に寄与できるなど事業目的を達成できた。
健康推進課	委託	保健・医療・福祉	健康増進室利用料及びあいとぴあセンター施設等使用料徴収業務委託	健康増進事業及びあいとぴあセンター施設の利用券を、自動販売機を使い販売し利用料を徴収する。	狛江市障害者団体連絡協議会	413,352	413,352	市の事務負担を軽減している。 平成25年度販売実績7,374枚

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
健康推進課	協定	まちづくり	「猫の飼育ガイドライン」の活用と普及～地域で取り組む地域ねこ活動	狛江市と狛江地域ねこの会との協働事業を実施するため協定書を締結し、市民と猫との共生の実現をめざす。	狛江地域ねこの会	596,757	596,757	飼い主のいない猫を適正に管理し、野良猫の数及び猫に関する近隣トラブルを減らすことができた。地域住民とのコミュニケーションを図ることで、住環境を向上させることができた。
子育て支援課	協定	まちづくり	プレーパーク事業	互いの特性を理解し、自主性と自立性をもって「プレーパーク事業」に取り組むことにより、実践などをとおして定常的なプレーパーク設置に向けて準備を行い、最大限の成果を狛江市民に還元する。	狛江にプレーパークをつくる会	232,132	232,132	事業を円滑に実施し、互いの事業に関する情報を共有し、狛江市民に対して共有している情報を公開できた。
児童青少年課	委託	青少年健全育成	青少年育成事業委員会合同事業業務委託	青少年の健全育成のために市内全域の青少年をを対象とした青少年健全育成事業(森を歩こう！風穴・氷穴)を団体へ委託する。	青少年育成事業委員会	193,746	160,000	狛江市青少年第一育成委員会へ委託、実施。 63名が参加。自然への関心や自然環境保全の大切さを自身の体験を通して学べ、青少年の育成に寄与した。また、体験教室においては、参加者同士の交流によって、社交性の促進に寄与することができた。
環境政策課	委託	環境保全	水辺の楽校運営委託	多摩川の水辺の自然と生きものを守り、子供たちの自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とする。協議会は、水辺の楽校の活動を支援するものとする。	狛江水辺の楽校運営協議会	332,616	300,000	清掃活動や総合学習の支援活動など「水辺の楽校」へ4015名の参加があった。主催事業を53回行い1493名の参加、総合学習支援事業を37回行い2522名の参加があった。
環境政策課	委託	環境保全	環境を考える会狛江市実行委員会	環境問題について「環境月間」を主軸とした取組みをより充実させるとともに、年間を通して継続的な環境啓発活動を実施する。	環境を考える会狛江市実行委員会	376,026	361,000	毎年環境月間における環境啓発パネル展、廃油を使ったせっけんづくり、寄せ植え、花の配布、環境講演会等の事業を展開している。また年間を通して二酸化窒素、酸性雨の測定、河川水質調査を実施しており、平成25年度は二酸化窒素の測定に各回約30名、酸性雨の測定に各回約9名、河川調査に各回約8名が参加した。
環境政策課	協定	まちづくり	市内の公園等の清掃・美化活動 （アドプト制度）	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め，もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。	第三長寿会 弁天通り清掃会 狛江団地自治会 ひまわり 狛江市シルバー人材センター 狛江ハイタウン団地管理組合法人 いずみ多摩川お掃除クラブ BLUE多摩川アウトドアフィットネスクラブ 木の葉会 岩戸児童遊園見守りグループ 小高木狛江リリエンハイム 花好き友の会 清水川サポーターズ	269,000	65,235	市内の公園等について、剪定、除草、清掃等の美化活動を定期的に行っている12団体（平成25年度）に、保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供し、希望団体にはアドプト制度を実施している旨の看板を設置した。これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。
環境政策課	協定	環境保全	狛江市公園等の住民参加による管理に関する協定	公園等の日常管理について、地域の住民で組織する団体と協定し、住民意識の高揚と地域連帯の醸成を図ることを目的とする。	のびのび会・とんぼの会・狛江弁財天特別緑地保全市民の会	1,580,000	1,578,900	報償費は清掃等ボランティア活動、自然観察会、学習会などにかかる費用の一部として使用され、コミュニティ活動の理解及び住民意識の高揚と地域連帯の醸成となっている。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
道路交通課	協定	まちづくり	市内の道路等の清掃・美化活動 （アドプト制度）	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。	ごみゼロの会 元和泉水神前土手清掃アドプトの会 吸いがら清掃の会 さくらグループ 河津さくら会 パークハイム狛江「緑の番人」ボランティア カラオケ21	28,000	5,754	市内の道路等について、清掃等の美化活動を定期的に行った7団体（平成25年度実績、内3団体は年度内に辞退・1団体は年度内に活動開始）に、保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供し、希望団体にはアドプト制度を実施している旨の看板を設置した。 これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。
道路交通課	協定	環境保全	花いっぱいエリア創設事業	狛江駅周辺及びふれあい側道等において、歩道上に重点的にプランター等を設置して、四季折々の花の苗を植え込み景観の向上を図ることを目的とする。	狛江駅前親栄会、狛江第三中学校	1,140,000	989,995	花の苗などは市が購入し、維持管理（水遣り）は親栄会及び狛江第三中学校が行い水道代等の経費相当分を報償費として支払いしている。 狛江駅前の歩道上に設置したプランター及びふれあい側道に四季折々の花の苗を植え込み景観の向上を図ると共に放置自転車の減少やゴミのポイ捨てが減少している。
学校教育課	協定	環境保全	狛江市立学校校庭芝生の維持管理 （アドプト制度）	平成20年度から実施した狛江第五小学校、平成25年度から実施した狛江第六小学校の校庭の一部芝生化に伴い、PTA・保護者・地域住民を中心に芝生維持管理団体を結成し、芝生の維持管理に努めている。	狛江第五小学校グリーンプロジェクト （新規）狛江第六小学校グリーンプロジェクト	1,112,432	1,112,432	第五小学校については、夏は週1回、冬は月1回程度の芝刈りや肥料やり等の維持管理活動に加え、月1回「しばふ通信」の発行や、年1回の五小夏まつりにも出展している。芝生による環境学習等の児童への直接的な成果以外にも、地域コミュニティー形成等、様々な成果があった。 第六小学校については、平成26年3月に開始され、実績はあまりない。
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	平成25年度市民スポーツ大会委託	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	特定非営利活動法人狛江市体育協会	2,641,000	2,641,000	軟式野球、スキー、卓球、バドミントン、ゴルフ、バレーボール、ボウリング、硬式テニス、空手道、バスケットボール、柔道、ダンススポーツ、グラウンドゴルフ、剣道、ソフトボール（全15種目）　参加人数2,868名 ビーチボール、ウォーキング、多摩川ロードレース、水泳、ノルディックウォーキング、3中地区スポーツ大会、1・4中地区スポーツ大会、2中地区スポーツ大会 参加人数2,418名
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	（新規）青少年ビーチボール教室委託	狛江市の青少年がスポーツを通じて、スポーツの振興と心身の健全な育成及び市内他校児童との交流を図ることを目的とする。	狛江市総合型地域スポーツクラブ	106,000	106,000	4月21日（日）から計6日間にかけて青少年スポーツ教室を実施した。小学3年生から中学生を対象にビーチボール競技を行った。応募人数は32名、延べ参加人数は139名であった。参加者は学年性別関係なく、同一競技を通して親睦を深めることができた。
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市少年野球大会委託	狛江市の青少年がスポーツを通じて、スポーツの振興と心身の健全な育成及び市内他校児童との交流を図ることを目的とする。	狛江市少年野球連盟	430,000	430,000	9月1日から7日間、狛江市民グランドにて大会を実施。3部（高学年の部、中学年の部、教育リーグ）構成で市内児童が総勢215名参加した。狛江市少年野球連盟と協力して事業を進め、市内児童が野球を通して技術の向上と参加者相互の親睦を深めた。
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市少年少女サッカー大会	狛江市の青少年がスポーツを通じて、スポーツの振興と心身の健全な育成及び市内他校児童との交流を図ることを目的とする。	狛江市少年少女サッカー連盟	352,223	380,000	平成26年2月2日から3月23日の8日間、狛江市民グランドにて大会を実施。年齢別に4部に分け、45チームの参加があった。狛江市少年少女サッカー連盟と協力して事業を進め、市内児童がサッカーを通して技術の向上と参加者相互の親睦を深めた。

参入の機会提供（委託・協定・覚書等）

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市少年少女綱引き大会	狛江市の青少年がスポーツを通じて、スポーツの振興と心身の健全な育成及び市内他校児童との交流を図ることを目的とする。	狛江市少年少女綱引き大会実行委員会	298,352	300,000	平成26年１月26日（日）に狛江市民総合体育館にて開催。２部（３～６年生の部、３・４年生の部）で構成され、市内小学校の児童総勢151名が参加した。この事業は、狛江市スポーツ推進委員、狛江市青少年委員及び狛江市体育協会で構成された狛江市少年少女綱引き大会実行委員会に委託し、協力して進めた。綱引き競技を通して、参加児童相互の親睦を深め、交流を図ることができた。
社会教育課	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市少年少女剣道大会	狛江市の青少年がスポーツを通じて、スポーツの振興と心身の健全な育成及び市内他校児童との交流を図ることを目的とする。	狛江市剣道連盟	156,423	175,000	平成26年３月９日（日）に狛江市民総合体育館にて開催。４部（小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生男子の部、中学生女子の部）構成で市内小中学校に通う児童及び生徒が総勢36名参加した。狛江市剣道連盟と協力して実施し、参加者が剣道を通して、技術の向上と参加者相互の親睦を深めることができた。
社会教育課	委託	社会教育	心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業運営委託	休日等に実施されるスポーツ活動・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動等を通じて、市内の心身に障害のある児童・生徒等の地域活動への参加・充実・促進を図る。	ふれんずシップ 遊びの会	641,995	500,000	平成25年度は、ふれんずシップが年間6回、遊びの会が年間10回の計16回の活動を行った。市内に数少ない障がい者を対象にした団体であり、特に遊びの会は、一般の児童との交流もあり、その存在の意義は大きい。
社会教育課	その他	学術・文化・芸術・スポーツ	狛江市立古民家園指定管理業務	古民家（市指定文化財２棟を含む）を狛江の大切な文化遺産として保存するとともに、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流の場と、体験学習や歴史学習など、市民が積極的に参加できる、ふるさとづくりの拠点として、地域文化の継承と発展に寄与する。	狛江市立古民家園運営市民協議会	9,335,994	10,269,000	平成25年度は、桜まつりが悪天候で中止となったが、事業としては、年中行事展示、各種イベント、教室・講座、小学生の体験学習など、39事業を実施し、ほぼ例年どおりの事業を展開した。入園者数は、20,889人と前年に比較して約5,000人減となった。
公民館	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	第25回いべんと西河原	西河原公民館利用団体を主体に1年間の活動の成果を展示や舞台で発表する機会とし、利用団体同士及び広く市民との交流を図り、公民館活動の発表の場とする。	第25回いべんと西河原 実行委員会	200,114	200,000	参加者延べ：9,129人（ただし、参加団体の報告書にある人数を単純に加算したもの）。実行委員会：73団体:70人。いべんと西河原実行委員会の役員を中心とした活動が根付いてきて、市民による企画・実施が具現化してきている。活動団体の発表の場としてのこの「いべんと西河原」を盛況に開催できた。
公民館	委託	国際交流	狛江市公民館「日本語教室」	外国から日本に来た方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開設。また、市民と外国人による市民レベルの交流を図る。	日本語教室 運営委員会	413,004	400,000	生徒延べ：712人、スタッフ延べ：578人、計1,290人。全37回。今年度も毎週土曜日に行われる通常の教室をはじめ、行事等、市民スタッフの尽力で安定した運営ができた。
公民館	委託	学術・文化・芸術・スポーツ	第29回中央公民館のつどい	中央公民館利用団体を主体とした、市民によるさまざまな活動の発表の場として、「手づくりの公民館のつどい」を行い、学習の輪、ふれあいの輪を広げて行く。	第29回中央公民館のつどい実行委員会	50,000	50,000	参加者延べ：6,264人、参加団体107団体。中央公民館のつどい実行委員会の企画委員を中心に、市民による企画・実施が具現化してきている。参加団体も昨年度より9団体増となった。活動団体の発表の場としての「中央公民館のつどい」を盛況に開催できた。

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
秘書広報室	後援	結婚サポート事業「なかまマリッジサポート」	非婚化・晩婚化に伴う少子化等の社会問題への対応の一環として事業実施	武蔵府中法人会	25.7.20-11.30	府中グリーンプラザ ルミエール府中 調布市民プラザあくろす ホテルコンチネンタル（府中市）	・法人会が行う結婚サポート事業に対する後援名義の付与
秘書広報室	共催	市民法律講座	狛江市民の法律知識の向上 地域住民弁護士と市民の交流 地域住民の法的ニーズに応えるため	狛江泉親会	25.4.1- 26.3.31	中央公民館 エコルマホール展示・多目的室	・会場の確保 ・受付業務 ・広報・HP等でPR
政策室	共催	こまえ平和フェスタ2013	平和を創り保持していくことの大切さを学び、考えを深める	こまえ平和フェスタ実行委員会	25.8.25	エコルマホール	・スタッフとしての参加 ・広報等によるPR ・ポスター・チラシ配布 ・会場予約
政策室	後援	平成26年度知のミュージアム多摩・武蔵野検定	地域の人材育成、地域学の確立、地元への愛着の醸成、ひいては地域振興へとつなげる	公益社団法人　学術・文化・産業ネットワーク多摩	26.4.1- 27.3.31		・名義使用
政策室	後援	第11回外国人による日本語スピーチ大会	外国人との交流の機会を創出する	狛江市国際交流協会	26.3.23	中央公民館	・スタッフとしての参加 ・広報等によるPR ・チラシ配布 ・会場予約
安心安全課	後援	自主防災訓練	住民への防災知識の向上とその意識改革	狛江ハイタウン団地管理組合法人	25.8.17	みつおさ児童公園 子鹿幼稚園	・ポスターでの名義使用 ・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	狛江ハイタウン防災パネル展	住民への防災知識の向上とその意識改革	狛江ハイタウン団地管理組合法人	25.12.31	狛江ハイタウン	・ポスターでの名義使用 ・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	パルシステム東京狛江センター防災まつり	組合員と近隣住民への防災意識向上し、配送センターが担う防災の意味付けを広く認知させる	生活協同組合パルシステム東京狛江センター	26.1.25	パルシステム東京狛江センター	・ポスターでの名義使用 ・防災に関する講演会の実施（まなび講座として実施）
課税課	後援	親子租税学習ツアー	小学生親子が税に対する正しい知識と大切さを学ぶ	武蔵府中青色申告会	25.6.27-7.24	武蔵府中税務署ほか	・広報等への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
課税課	後援	税を考える週間特別事業税金川柳優秀作品発表会・綾戸智恵コンサート	税に関する啓発活動により税金の大切さを正しく理解する	武蔵府中法人会	25.11.5-11.14	調布市グリーンホール	・広報への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
地域活性課	共催	狛江古代カップ第23回多摩川いかだレース	多摩川に多くの方々が関心と親しみを持ってもらうことをとおして、狛江の魅力を高める	狛江古代カップ第23回多摩川いかだレース実行委員会	25.7.14	多摩川五本松～宿河原堰手前	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	共催	地域就職面接会	求職者と求人企業のマッチングを高めていく	公益財団法人　東京しごと財団	25.7.2-7.5	調布市文化会館たづくり	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	後援	第41回初夏の音楽会	市民の参加により狛江の音楽文化を高め、音楽関係団体の交流を深めること	狛江市音楽連盟	25.6.2	エコルマホール	・名義使用
地域活性課	後援	第3回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクールin八王子	芸術文化の啓蒙と都市の文化発展、国際交流の発展のため	ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会	25.11.22-12.1	いちょうホール（八王子市）	・名義使用
地域活性課	共催	農業ウォッチングラリー	生産者と消費者との交流を通じ、都市農業への理解を図る	JAマインズ狛江地区青壮年部	25.7.6	市内	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	共催	使用者向けセミナー「必見！企業のための改正労働者派遣法・労働契約法解説」	使用者の円滑な労使関係の構築に役立てるため	東京都労働相談情報センター八王子事務所	25.7.22, 7.29	府中グリーンプラザ	・広報等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	後援	アプサラス第4回演奏会	音楽の街狛江の発展貢献	アプサラス	25.8.4	エコルマホール	・名義使用
地域活性課	後援	第24回府中市工業技術展	企業の情報交換を図ると共に、市民のものづくりへの関心を高める	むさし府中商工会議所	25.10.11-10.12	府中市 市民会館	・名義使用
地域活性課	共催	いずみ会納涼盆踊り大会	市民、子どもたちの親睦・交流・育成を促すため	いずみ会	25.8.3-8.5	市民ひろば	・会場の確保
地域活性課	共催	就職活動支援セミナー	就職活動を支援するため	府中公共職業安定所	25.9.9	エコルマホール	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
地域活性課	共催	労働者向けセミナー	労働知識の普及啓発	労働相談情報センター八王子事務所	25.10.8-10.15	調布市文化会館たづくり	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	共催	第14回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	地域に根ざした郷土芸能を通じ、交流、関心、親しみを持ってもらう	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	25.12.1	エコルマホール	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	後援	上和泉地域センターまつり	利用団体の活動発表及び地域住民の交流を目的とする	上和泉地域センター運営協議会	25.10.12, 10.13	上和泉地域センター	・名義使用
地域活性課	後援	野川地域センターまつり利用者発表会	利用団体の活動発表及び地域住民の交流を目的とする	野川地域センター運営協議会	25.10.6	野川地域センター	・名義使用
地域活性課	後援	岩戸地域センター利用者発表会	利用団体の活動発表及び地域住民の交流を目的とする	岩戸地域センター運営協議会	25.10.19, 10.20	岩戸地域センター	・名義使用
地域活性課	共催	地域就職面接会	求職者と求人企業のマッチングを高めていく	公益財団法人　東京しごと財団	25.11.8	府中グリーンプラザ	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	共催	未来コンサートⅣ	琴三味線を修得してきた受講生の最終発表会、専門家の演奏を披露することによる地域の活性化	NPO法人邦楽指導者ネットワーク21狛江支部箏曲正音会	26.1.5	エコルマホール	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	共催	男女雇用平等セミナー	労働知識の普及啓発	労働相談情報センター八王子事務所	26.1.15-1.22	町田市民ホール	・広報等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	後援	ふるさと多摩の魅力発見めぐりスタンプラリー第３弾	多摩地域の魅力を再発見し、ふるさと多摩への愛情を深めることで、多摩地域の活性化に繋げる	多摩信用金庫	26.2.1-3.16	狛江市 他16市	・名義使用
地域活性課	後援	第27回多摩源流まつり	多摩川源流としてのPRと多摩川上下流での交流	山梨県北都留郡小菅村	26.5.3-5.5	山梨県小菅村	・名義使用
地域活性課	共催	調布・狛江就職面接会2014	就職活動中の求職者に対する早期就職支援及び求人事業主に対する人材確保対策	府中公共職業安定所	26.3.7	調布市文化会館たづくり	・広報・HP等でPR ・当日スタッフとしての参加
地域活性課	後援	平成25年度狛江能楽教室発表会	子どもたちの能楽の発表のため	狛江能楽普及会	26.3.23	西河原公民館	・当日スタッフとして参加
地域活性課	後援	第12回多摩ブルー・グリーン賞	多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与するため	多摩信用金庫	26.4.10-12.11	多摩地域全域	・名義使用
地域活性課	後援	平成26年能楽体験講座	能楽を体験し身近に感じてもらうため	狛江能楽普及会	26.4.1- 27.2.28	エコルマホール・泉の森会館	・名義使用
地域活性課	後援	三木稔メモリアルコンサート	作曲家三木稔の功績を讃え、公演を実施する	三木稔メモリアルコンサート実行委員会	26.7.13	すみだトリフォニーホール大ホール（墨田区）	・名義使用
地域福祉課	後援	夏休み！親子で介護体験講座	社協の認知度向上、介護を通じた親子で福祉、介護について考えるきっかけづくり	狛江市社会福祉協議会	25.8.9	あいとぴあセンター	・広報などでPR
地域福祉課	後援	第33回ボランティアのつどい	ボランティア、市民活動への認知・理解を深める	狛江市社会福祉協議会	25.10.27	あいとぴあセンター	・広報などでPR
地域福祉課	共催	ふくしえほん「あいとぴあ」20周年記念講演会～福祉教育の役割～	福祉教育の役割と効果を認識してもらう機会の提供、福祉教育発展への問題提起	狛江市社会福祉協議会	26.1.25	狛江市防災センター	・会場の確保
地域福祉課	共催	高齢者・障がい者のための成年後見相談会	成年後見制度の相談を受け市民の権利や財産を守るための助言により安心できる生活の一助とする	（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部	25.9.7	エコルマホール展示・多目的室	・会場の確保 ・広報・HPなどでPR ・当日スタッフとしての参加 ・受付業務
高齢障がい課	共催	平成25年度敬老入浴券事業	敬老の日を祝するとともに高齢者の保健衛生の向上とコミュニケーションの場を提供	調布狛江浴場組合	25.9.13-9.15	調布狛江浴場組合加盟の浴場（8箇所）	・広報等での周知 ・配布物等の印刷 ・敬老入浴券の配布
高齢障がい課	後援	平成25年度狛江市老人クラブ連合会芸能大会	会員の生きがい、親睦、一般市民との交流の機会の確保	狛江市老人クラブ連合会	25.10.10	エコルマホール	・会場確保 ・広報等での周知
高齢障がい課	共催	講演会「平穏死、安らかな看取りについて」	タブー視されている人生の最期「死」について前向きに考えていくきっかけ	狛江の高齢者のくらしをよくする会	25.12.1	中央公民館ホール	・当日スタッフとしての参加 ・広報等での周知 ・会場確保 ・講師謝礼支払い
高齢障がい課	後援	かぞく市～多摩の健康・介護・医療展～	健康・介護・医療機器などを取り扱う地元中小企業などと地域の方々、関係者との橋渡し	多摩信用金庫	25.12.6-12.7	昭和記念公園みどりの文化ゾーン	・名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
高齢障がい課	後援	歌謡交流大会	会員の生きがいを高め、親睦を深めるとともに、一般市民との交流の機会とする	狛江市老人クラブ連合会	26.2.13	狛江市民ホール（エコルマホール）	・会場確保 ・広報等でPR
高齢障がい課	共催	平成26年度健康づくり事業	市民生活の向上・会員相互の親睦を図り健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送り、社会福祉の増進に寄与する	狛江市老人クラブ連合会	26.4.1～27.3.31	中央公民館　他	・会場確保 ・広報等での周知
高齢障がい課	共催	野川元気スクールで行う運動教室	健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送り、社会福祉の増進に寄与する	野川元気スクール	26.4.1～27.3.31	野川地域センター	・会場確保 ・広報等での周知
高齢障がい課	共催	障害者福祉の過去と未来（戦後から障害者総合支援法）	障害福祉の理解を深める	狛江市手をつなぐ親の会	25.5.19	エコルマホール	・ポスターの作成・周知 ・当日受付け業務
高齢障がい課	共催	狛江市とイイトコサガシを結ぶ発達障害支援事業	発達障害の理解を深める	東京都成人発達障害当事者会イイトコサガシ	25.6.1-26.3.31（年6回）	あいとぴあセンター講座室	・会場確保 ・広報等での周知 ・コミュニケーションワークショップ、講演会開催
高齢障がい課	後援	研修会「支援の視点～一人ひとりのすこやかな育ちを支えていくために～」	障がいへの理解と支援方法を学ぶ	NPO法人　ナナの家	25.9.28	あいとぴあセンター講座室	・名義使用
高齢障がい課	後援	子育てシンポジウム「家庭における親子のあり方」	多くの保護者に、発達障がいや様々な悩みをもつ方の支援方法等について学んでほしい	NPOファミリーコンサルタント協会	25.9.29	国立オリンピック記念青少年総合センター	・名義使用
高齢障がい課	後援	第29回全国失語症友の会連合会全国大会・東京多摩大会	言語障害を持つ仲間の連携や一般市民への啓発のため	全国失語症友の会連合会	26.6.8	多摩永山情報教育センター	・名義使用
高齢障がい課	後援	多摩川乗馬会	乗馬を通して障がい児と健常者が仲良く楽しく交流を図る	NPO法人　ナナの家	26.4.20, 5.18, 10.5, 11.9	多摩川河川敷自由広場	・名義使用
高齢障がい課	後援	研修会「障がい者と性～幼児から始める性教育～」	障がい児に関わる人達への性教育の研修	NPO法人　ナナの家	26.1.25	こどもデイサービスほっぷ	・名義使用
健康推進課	後援	平成25年度市町村支援研修「自殺対策研修」	自殺対策の意義や重要性、効果的な対策等の知識付与、取り組み	多摩府中保健所	25.7.29	武蔵野商工会議所	
健康推進課	共催	マタニティクッキング	妊婦の食生活の向上と交流	狛江栄養士会	25.4.24, 5.29, 6.26, 8.28, 9.11, 10.23, 11.27, 12.18, 26.1.29, 2.26	あいとぴあセンター	・チラシの作成・印刷 ・「母と子の保健バック」に封入 ・母親学級にてチラシの配布 ・問い合わせに関しての回答 ・施設料の免除
健康推進課	後援	狛江市歯科医師会市民健康フォーラム21	市民が健やかな生活を送ることを支援するためセミナーを開催	狛江市歯科医師会	25.4.6	エコルマホール	・広報こまえへの掲載 ・あいとぴあセンターにてポスターの掲示
子育て支援課	共催	家族支援事業「子育てにホッとtime」	地域における子育て・家族支援事業の一環	特定非営利活動法人ファミリー・コンサルタント協会	25.5.14- 26.3.25	子育て支援課窓口及び掲示板等	・ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置
子育て支援課	後援	ドメスティックバイオレンス終結にむけてのキャンペーン	市の相談窓口や民生児童委員に相談することを周知する	国際ソロプチミスト東京一狛江	25.11.5-11.18	子育て支援課窓口及び掲示板等	・ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置
子育て支援課	共催	むいからで遊ぼう	むいから民家園の建物と庭を開放し、遊びの場を提供し、地域文化の継承を進めるとともに、自然の中で子育ての楽しさを味わってもらう	一般社団法人サポート狛江	25.5.18, 10.19	むいから民家園	・ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置 ・開催前後の準備・片付け及び開催当日の運営支援 ・広報等によるPR
児童青少年課	共催	チャイルドライン（電話相談）事業	子ども自らが自分と向き合い問題を解決できるように支援する	こまえチャイルドライン	25.4.1- 26.3.31	あいとぴあセンターボランティア室	・毎月の定例会議の会場確保 ・チャイルドラインカードの配布協力
児童青少年課	共催	宮前保育園父母の会夏祭り	父母の交流、園児に楽しい夏の経験と思い出作りをさせる	宮前保育園父母の会	25.7.20	宮前保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	駒井保育園父母会主催お楽しみ会	保育園に通う子どもたちと親が親睦を深め、卒園児や近隣の方々と共に楽しむ場を作る	駒井保育園父母会	25.9.7	駒井保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	三島保育園父母会共催行事「みしまっこ夏まつり’13」	三島保育園児とその家族・職員・保育士との交流	三島保育園父母会	25.7.27	三島保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
児童青少年課	共催	子ども三味線教室	青少年に対し、日本の伝統文化である三味線教室を伝承する	NPO法人邦楽指導者ネットワーク21狛江支部	25.9.1-26.1.5	和泉児童館	・施設貸出し ・広報掲載、ポスター掲示
児童青少年課	共催	駄倉保育園父母の会だぐらまつり	父母の会の親子交流・親睦	駄倉保育園父母の会	25.9.7	駄倉保育園園庭(仮園舎)	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	いずみ納涼祭	保育園を会場とした夏祭りを通して親睦を深める	和泉保育園父母の会	25.7.10-9.8	和泉保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
環境政策課	共催	平成25年度野川生きもの観察会	生物多様性の保全に努めるとともに、地域社会の発展に寄与する	野川環境向上実行委員会	25.8.26	野川	・当日スタッフとしての参加 ・受付業務 ・広報・HP・ポスター等で周知
環境政策課	共催	平成25年度野川美化清掃活動	美化清掃活動を行い、自然の回復に努め、人的交流を通じて、地域社会の発展に寄与する	野川環境向上実行委員会	25.10.23	野川	・当日スタッフとしての参加 ・受付業務 ・広報・HP・ポスター等で周知
環境政策課	共催	BLUE多摩川アウトドアフィットネスクラブ無料公開講座	スポーツプログラムの普及を通じ、多摩川河川敷の活性化に寄与する	BLUE多摩川アウトドアフィットネスクラブ	25.11.4-26.3.22	BLUE多摩川アウトドアフィットネスクラブおよび多摩川河川敷周辺	・広報・ポスター等で周知
環境政策課	後援	エネこま第1回学習会	市民の省エネ意識を高める	エネルギーシフトを実現するこまえの会	26.3.1-3.16	西河原公民館	・広報・ポスター等で周知
まちづくり推進課	後援	第36回住宅デー	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削りなど市民へ奉仕活動をする	東京土建一般労働組合狛江支部	25.6.9	狛江市内12会場	・後援名義使用
まちづくり推進課	後援	まちづくり実践塾	市民のまちづくりの提案力・解決力を高めるため	景観市民運動全国ネット	25.7.6・25.8.3	泉の森会館	・後援名義使用
まちづくり推進課	後援	東京土建「第19回秋の住宅まつり」	住まいの無料相談などを通して市民に対し奉仕活動をする	東京土建一般労働組合狛江支部	25.10.13	市民ひろば	・後援名義使用
学校教育課	後援(教育)	障がいのある子供や大人のためのスポーツ教室	障がいのある人たちが豊かなレクリエーションを経験できるようにする	狛江市手をつなぐ親の会	25.5.12-11.3	狛江第二中学校 西和泉体育館	・小・中学校へのポスター及びチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	2013多摩川塾	多摩川で安全に自然環境教育が指導できる小学校教師の育成	NPO法人　多摩川塾	25.5.20-26.3.31	狛江水辺の楽校ほか多摩川流域	・小・中学校へのポスター及びチラシの配布　ポスターの掲示
学校教育課	後援(教育)	ボランティアのたねプログラム	子どもたちが多様な価値観や共生について考える機会とする	狛江市社会福祉協議会	25.6.1-26.3.31	あいとぴあセンターほか市内各所	・小・中学校へのポスター及びチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	夏！体験ボランティア	地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学ぶ	狛江市社会福祉協議会	25.7.19-9.13	あいとぴあセンターほか市内各所	・小・中学校へのポスター及びチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	ESA夏休み親子わくわくワークショップ	子どもたちが海外の子どもたちの生活を知り、本を通じてインドやバングラデシュの子どもたちとつながることを目的とする	ESAアジア教育支援の会	25.7.27	エコルマホール	・小学校へのチラシの配布
学校教育課	共催(教育)	狛江市・調布市アレルギー・アナフィラキシー対応講習会	調布市における事故等を踏まえ、同様の事故の再発を未然に防ぐ	慈恵第三病院	25.5.21	慈恵第三病院	・小・中学校へのチラシの配布 ・講習会会場設営 ・資料準備
学校教育課	後援(教育)	明治大学理工学部「夏休み科学教室」	子どもたちに物を作ったり観察する喜びを体験してもらうことを目的とする	明治大学理工学部	25.8.9	明治大学生田校舎	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	大人の発達障害イイトコサガシ・ワークショップ交流事業	大人の発達障害の可能性、生き辛さ、コミュニケーション等をイイトコサガシ・ワークショップを通じて理解、交流、共感する	東京都成人発達障害当事者会　イイトコサガシ	25.6.1-26.3.31	中央公民館 あいとぴあセンター	
学校教育課	共催(教育)	狛江市・調布市アレルギー・アナフィラキシー対応講習会	アレルギー・アナフィラキシー対応に関する医療指導	東京慈恵会医科大学附属第三病院	25.8.20	慈恵第三病院	・小・中学校へのチラシの配布，講習会会場設営，資料準備
学校教育課	後援(教育)	研修会「支援の視点～一人ひとりのすこやかな育ちを支えていくために～」	障がいへの理解と支援方法を学ぶ	NPO法人　ナナの家	25.9.28	あいとぴあセンター	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	平成25年度狛江市人権啓発事業「音楽と講演の集い」	人権問題に対する正しい認識を広め、人権尊重思想の普及高揚を行う	人権啓発事業「音楽と講演の集い」実行委員会	25.12.7	エコルマホール	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援	東京都立調布特別支援学校PTA平成25年度調布まつり	障がい児・者と地域の人々との交流・親睦を深める機会を提供する	平成25年度調布まつり委員会	25.12.14	東京都立調布特別支援学校	・小・中学校へのチラシの配布

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援（教育）	研修会「障がい者と性～幼児から始める性教育～」	障がい児に関わる人たちへの性教育の研修	NPO法人　ナナの家	26.1.25	こどもデイサービスほっぷ	
学校教育課	後援（教育）	ふくしえほん20周年記念講演会	福祉教育の役割と効果を認識する機会を作り、小学校や中学校への連続した福祉教育へ発展させるための問題提起	狛江市社会福祉協議会	26.1.25	狛江市防災センター	・小・中学校への実施計画書及びチラシの配布
学校教育課	後援（教育）	第22回狛江すくすくコンサート	小学生、中学生及び高校生による発表及び交流の機会として充実を図る	狛江市青少年問題協議会	25.12.14	エコルマホール	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援（教育）	狛江市歯科医師会市民健康フォーラム21	市民が健やかな生活を送ることを支援するためセミナーを開催	狛江市歯科医師会	26.4.6	エコルマホール	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援（教育）	トルストイの劇を観る会レフおじいさんの童話の森にて	親子を中心に幅広く観賞していただく	トルストイの劇を観る会	26.3.31	調布市文化会館	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援（教育）	きぼうのてプロジェクト2～みつけたたからもの～	被災地と東京多摩地域の小学生が、図工・美術作品をもとに交流し、震災の現状を知り、新たな課題をつかむ	きぼうのてプロジェクト	26.3.8-3.10	パルテノン多摩市民ギャラリー	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援（教育）	多摩川乗馬会	乗馬を通して障がい児と健常者が仲良く楽しく交流を図る	NPO法人　ナナの家	26.4.20, 5.18, 10.5, 11.9	和泉多摩川河川敷	・小・中学校へのポスター及びチラシの配布　ポスターの掲示
学校教育課	後援（教育）	春！体験ボランティア	地域社会を構成する一市民として積極的に社会づくりに参加することの意義を学ぶ	狛江市社会福祉協議会	26.3.18-4/6	あいとぴあセンター	・小・中学校へのチラシの配布
学校教育課	共催（教育）	第21回子供たちからの人権メッセージ発表会	子供たちに人権尊重の精神と自由に意見を表明する権利を理解してもらう	狛江市 多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会	26.9.13	エコルマホール	・名義使用
学校教育課	共催（教育）	都情研夏季研修会	都内公立小中学校の教師を対象とした研修会	東京都公立学校情緒障害教育研究会	26.7.30 7.31	エコルマホール	・小・中学校へのチラシの配布
社会教育課	後援	第11回子どもフェスティバル	スカウトスキルを通じ、スカウト運動の普及を図る	狛江市ボーイスカウト連絡協議会	25.5.5-5.6	多摩川自由広場	・チラシ配布
社会教育課	共催	第66回都民体育大会春季大会	スポーツの振興に資する	狛江市体育協会	25.5.12	東京体育館	・事務処理 ・庁用バス手配
社会教育課	後援（教育）	調布・狛江早朝野球連盟リーグ戦・トーナメント戦	野球を通じ親睦と交流を図り、健康増進を目的とする	調布・狛江早朝野球連盟	25.4.12-11.15 （毎週金曜日）	狛江市民グランド	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第23回狛江市舞踏大会	狛江における芸能文化の発展	狛江市舞踏連盟	25.6.16	エコルマホール	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	平成25年度市民大会春季バスケットボール大会	バスケットボールの普及と技術向上	狛江市バスケットボール連盟	25.5.12-6.2	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江市第9回少年少女サッカー連盟杯	サッカースポーツを通しての親交	狛江市少年少女サッカー連盟	25.6.9-7.28	市民グランド	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第35回狛江市卓球団体戦	狛江市民の卓球愛好者及び団体による市民卓球団体戦の開催	狛江市卓球連盟	25.7.28	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	第41回初夏の音楽会	狛江の音楽文化を高め、音楽関係団体の交流を深める	狛江市音楽連盟	25.6.2	エコルマホール	・ポスターの掲示
社会教育課	後援（教育）	O'BATA THE LIVE 細胞からの音に出会う瞬間（とき）	打楽器奏者である小幡亨氏のソロ演奏会を広く多くの市民と共有する	SPOT	25.10.27	西河原公民館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	平成25年度ジュニアビーチバレー教室	狛江市にビーチボールバレーの普及底辺の拡大を図る	狛江市体育協会	25.7.13-11.27	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第10回いろい倶楽部歌謡まつり	地域の人との親睦、交流を深め明るく健康で生きがいのある人生に役立てる	いろい倶楽部	25.9.16	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江市ジュニアバレーボール親善交流大会	国体少年男子バレーボールの開催に向けて、PR活動を行う	狛江市バレーボール協会	25.7.14	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	2013夏休みジュニアテニス教	テニスの普及底辺の拡大を図る	狛江市体育協会	25.8.19-8.23	元和泉市民テニスコート	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	カラオケこもれび第3回発表会	カラオケ同好の人が集まり、発表会を行い、文化の向上を図る	カラオケこもれび	25.8.25	西河原公民館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	平成25年度ジュニアスポーツ空手道強化練習	空手道の普及底辺の拡大を図る	狛江市体育協会	26.1.5-2.23	市民総合体育館	・名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援（教育）	平成25年度ジュニアスポーツ空手道教室	空手道の普及底辺の拡大を図る	狛江市体育協会	25.10.6-11.24	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	平成25年度ジュニアビーチボールバレー大会	ビーチボールバレーの普及底辺の拡大を図る	狛江市体育協会	26.2.9	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江バンドフェスティバル	アマチュアバンドの演奏会	狛江市音楽連盟	25.7.28	西河原公民館	・ポスターの掲示
社会教育課	共催（教育）	企画展示「渋沢敬三からのメッセージ　渋沢栄一・・・」	国内外に所蔵されている日本文学及び関連資料の専門的な調査研究と、撮影及び原本による収集を行い、得られた所在・書誌情報を利用者へ提供、展示、講演会を行うことで社会へ還元する	国文学研究資料館	25.9.13-10.14	国文学研究資料館	・展示品提供 ・資料作成
社会教育課	後援（教育）	西東京剣道連盟加盟団体合同練成大会	市民剣道愛好者の剣道技術の向上と理解を深める	狛江市剣道連盟	25.9.1	狛江市民総合体育館	・わっこ掲載、ポスター掲示
社会教育課	後援（教育）	映画「DXな日々ー美んちゃんの場合」上映会＆お話	映画上映等を通して、読み書きが困難な子どもへの理解を深める	一般社団法人サポート狛江	25.7.31	泉の森会館	・ポスターの掲示
社会教育課	後援（教育）	夏休みわくわく！クラフト体験教室vol.6	夏休み中の子供達にものづくりの楽しさを知ってもらう	泉の森友の会	25.8.17-8.25	泉の森会館	・チラシ配布、ポスター掲示
社会教育課	後援	第6回多摩川ウォーキングフェスタ	スポーツを身近な場所で楽しむ	日本ウォーキング協会	25.10.26	多摩川ガス橋緑地	・チラシ配布 ・広報「こまえ」掲載
社会教育課	後援（教育）	平成25年度シニアテニス教室	スポーツの楽しさと健康維持を図る	狛江市体育協会	25.9.10, 9.11	元和泉市民テニスコート	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	泉の森通り夏祭り	泉の森会館や周辺にある店舗を周知し、店舗や市民の交流を図る	泉の森友の会	25.8.3・25.8.4	泉の森会館及び会館前通り	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	「この国のかたちを学ぼう」	市内の教員、保護者を中心に地理（小学生版）公開授業を実施する	狛江青年会議所	25.8.21	エコルマホール	・チラシ配布
社会教育課	後援（教育）	狛江市立学校PTA連合会バレーボール大会	各学校の親睦のため	狛江市立学校PTA連合会	25.10.27	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第23回オープン家庭婦人ダブルス大会	狛江市近郊の卓球愛好者の交流会	狛江T＆Mクラブ	25.11.15	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	第38回邦楽の集い	狛江市の文化向上に寄与するとともに、会員相互の親睦を目的とする	狛江市邦楽連盟	25.9.29	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援	狛江市民吹奏楽団第14回定期演奏会	年間活動発表の場として	狛江市民吹奏楽団	25.12.23	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江市民吹奏楽団第14回定期演奏会	年間活動発表の場として	狛江市民吹奏楽団	25.12.23	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江市民年令別ミックスダブルス硬式テニス大会	硬式テニスの普及と技術の向上及び会員相互の親睦と市民の錬磨を図る	狛江市硬式テニス協会	25.11.17	元和泉市民テニスコート・東野川	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	狛江市民シングルス硬式テニス大会	硬式テニスの普及と技術の向上及び会員相互の親睦と市民の錬磨を図る	狛江市硬式テニス協会	25.11.17	元和泉市民テニスコート・東野川	・わっこ掲載
社会教育課	後援	第32回定期演奏会	市民による市民の為のコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	25.11.9	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第32回定期演奏会	市民による市民の為のコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	25.11.9	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第20回狛江市オープン卓球大会	市外の選手と技術交流することにより、市民の卓球技術の向上を図る	狛江市卓球連盟	25.12.8	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	東日本大震災被災者支援チャリティーコンサート「響け私たちの心」	東日本大震災の被災者をコンサートで励ます	泉の森友の会	25.10.12	泉の森会館	・ポスターの掲示
社会教育課	後援（教育）	狛江市ビーチボール大会顧問杯	ビーチボール競技の普及、振興を図り、参加者相互の交流を図る	狛江市ビーチボー協会	25.12.22	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	第12回マンドリーノTAMAコンサート	日頃の練習成果発表を通じ、音楽の街狛江に貢献する	マンドリーノTAMA	25.11.30	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援	平成26年どんど焼祭	伝承民俗行事を守り、地域青少年の友情を交換する	狛江市ボーイスカウト連絡協議会	26.1.12	多摩川緑地公園グランド脇	・わっこ掲載
社会教育課	後援	狛江市民まつり参画事業「こまえ宝探しゲーム」	市内児童へ郷土愛を育む	狛江青年会議所	25.11.10	狛江市民まつり会場及びその周辺	・名義使用

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	狛江市民まつり参画事業「こまえ宝探しゲーム」	市内児童へ郷土愛を育む	狛江青年会議所	25.11.10	狛江市民まつり会場及びその周辺	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	第22回狛江市バドミントン新春初打ち大会	狛江市民のバドミントン競技の向上、競技人口を広める	狛江市バドミントン協会	26.1.19	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	阿部利彦先生講演会「発達が気になる子の「いいところ応援計画」」	通常学級における発達障がい児のいいところ応援計画を提唱する	一般社団法人サポート狛江	25.11.30	あいとぴあセンター	・チラシ配布
社会教育課	後援(教育)	第17回狛江市レディースバドミントン大会	他クラブと狛江レディースクラブとの親睦を深める	Komae'86	26.3.6	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	2014年女声合唱団エオリアン・コール　コンサート	日頃の練習成果発表を通じ、市民の文化向上に寄与する	女声合唱団エオリアン・コール	26.3.30	エコルマホール	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	小田急バレーボールクリニッ	バレーボール技術向上のため	フレンズ	26.3.23	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	第20回バタフライカップダブルスチーム大会	狛江市近郊の卓球愛好者の交流会	T&Mクラブ	26.4.18	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援	東京都ビーチボール協会指導者講習会	ビーチボールの普及と振興を図るため、次世代につながる指導者の養成を進める	狛江市ビーチボール協会	26.3.16	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援	第8回公開学習会～吃音を学ぼう～	吃音啓蒙	吃音サポート「ジークフリーツ」	26.3.9	狛江第一小学校	・名義使用
社会教育課	後援	第36回狛江市民創作展	作品を展示・発表し、参加者相互の交流と親睦を図り、市民の文化向上に寄与する	狛江市芸術協会	26.4.26, 4.27	中央公民館	・わっこ掲載 ・ポスターの掲示
社会教育課	後援(教育)	第36回狛江市民創作展	作品を展示・発表し、参加者相互の交流と親睦を図り、市民の文化向上に寄与する	狛江市芸術協会	26.4.26, 4.27	中央公民館	・わっこ掲載 ・ポスターの掲示
社会教育課	後援	第15回狛江チャリティー歌謡まつり	福祉社会への参加を理念に地域に密着した活動	アマチュア歌謡サークル狛江	26.5.25	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	第15回狛江チャリティー歌謡まつり	福祉社会への参加を理念に地域に密着した活動	アマチュア歌謡サークル狛江	26.5.25	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	狛江市軟式野球連盟春季大会	アマチュアスポーツの一環として野球チーム相互の健康、親睦等を図る	狛江市軟式野球連盟	26.3.9-8.3	多摩川緑地公園グランド	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	第20回KOMAECUP2014(春)シニアサッカー大会	大会を通じ市民の親睦を図る	KSCマトゥーロB	26.5.5	狛江市民グランド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市ビーチボール大会顧問杯	ビーチボール競技の普及・振興を図り、参加者相互の交流を図ることを目的とする	狛江市ビーチボー協会	26.4.27	狛江市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第45回狛江市少年野球春季大会	狛江市少年野球連盟に所属するチームにより大会を実施、各クラスの優勝以下を決定する	狛江市少年野球連盟	26.4.6-6.1	狛江市民グランド	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	平成26年度春季ソフトボール大会	ソフトボール競技を通して狛江市民の親睦、体力向上、技術向上を図る	狛江市ソフトボール協会	26.4.6-5.11	西和泉グランド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	平成26年度狛江市民グランウンドゴルフ春季大会	グラウンドゴルフの普及及び会員親睦を図る	狛江市グラウンドゴルフ協会	26.4.20	市民グランド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	「狛江の旧野川」展示講演会	旧野川と当時の暮らしについて展示、講演を広く市民に周知する	泉の森友の会	26.3.9	泉の森会館	・ポスターの掲示
社会教育課	後援(教育)	第42回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル	児童・青少年演劇が深く文化的財産として認識されるよう周知する	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	26.7.22-8.10	全労済ホール プーク人形劇場 荒馬座民族芸能センター	・名義使用
社会教育課	後援	第28回狛江市ダンススポーツ大会	広い地域の選手と共に公認戦として技術の向上を図る	狛江市ダンススポーツ連盟	26.5.25	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	ダンス＆スポーツフェスティバル「ミライエ・カップ」	狛江市及び近隣のスポーツクラブの交流と参加者のモチベーション向上、心身の育成を促す	ジムラブダンス＆スポーツプロジェクト	26.5.11	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援	第33回定期演奏会	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	26.5.24	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	第33回定期演奏会	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	26.5.24	エコルマホール	・名義使用
社会教育課	後援(教育)	狛江市民春季硬式テニス大会	硬式テニスの普及と技術の向上及び会員相互の親睦と市民の錬磨を図る	狛江市硬式テニス協会	26.5.11	元和泉市民テニスコート 東野川市民テニスコート	・わっこ掲載

共催・後援

担当課	種別	事業名	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援	第15回多摩川ウォーク	ウォーキングへの関心を高めるとともに、健康増進・体力向上を図る機会を提供する	世田谷区スポーツ振興財団	26.5.11	世田谷区立兵庫島公園他	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	狛江ふれあい移動動物園	子どもからお年寄りまで動物とふれあい、楽しいひとときを過ごしてもらう	東京たまがわロータリークラブ 狛江市立古民家園運営市民協議会	26.4.19	狛江市立古民家園	・広報「こまえ」に掲載
社会教育課	後援（教育）	平成26年度バスケットボール春季狛江市民大会	競技力の向上のため	狛江市バスケットボール連盟	26.6.1 6.8 6.15	市民総合体育館	・名義使用
社会教育課	後援	跳鼓舞50周年記念演奏会「ありがとう、そして伝えたい」	日本の伝統ある郷土芸能を市民に知ってもらう	調布狛江合唱団	26.8.8	調布市グリーンホール	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	跳鼓舞50周年記念演奏会「ありがとう、そして伝えたい」	日本の伝統ある郷土芸能を市民に知ってもらう	調布狛江合唱団	26.8.8	調布市グリーンホール	・名義使用
社会教育課	後援	第29回狛江母親大会	年に1回テーマを決めて学び話し合う	狛江母親大会実行委員会	26.5.11	中央公民館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第29回狛江母親大会	年に1回テーマを決めて学び話し合う	狛江母親大会実行委員会	26.5.11	中央公民館	・名義使用
社会教育課	共催（教育）	第67回都民体育大会春季大会開会式	スポーツの振興に寄与する	狛江市体育協会	26.5.11	東京体育館	・名義使用
社会教育課	後援（教育）	第12回スカウトフェスティバル	スカウトスキルを通じ、スカウト運動の普及を図る	狛江市ボーイスカウト連絡協議会	26.5.11	こまえ水辺の楽校内和泉自動車教習所南地内及び自由広場	・チラシ配布
社会教育課	後援（教育）	第36回狛江市バドミントンダブルス大会	市外近隣との交流を深め、市民のレベルアップを計る	狛江市バドミントン協会	26.6.29	市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援（教育）	第15回狛江市三曲協会演奏会	市民と三曲（箏、三絃、尺八）を通じて交流を深め、邦楽文化の発展に寄与する	狛江市三曲協会	26.6.7	エコルマホール	・名義使用

意見交換・情報交換（懇談会・フォーラム・シンポジウム等）

担当課	種別	開催名称	開催目的	参加団体	実施日	実施場所	交換した意見・情報の内容
地域福祉課	ワークショップ	避難行動要支援 地域における個別計画の取り組み方	避難行動要支援者の地域における支援組織づくりのため、狛江ハイタウンをモデル地区としたワークショップを開催した。	狛江ハイタウン団地管理組合法人（理事、役員、一般参加者）	25.12.8-26.3.1	子鹿幼稚園ホール	昨年度の災害時要援護者支援検討委員会ワークショップに引き続き、平成25年度は中高層住宅におけるモデル実践として、全4回のワークショップを実施した。各回とも、参加者同士で活発な意見交換が行われた。
公民館	懇談会	西河原公民館利用者懇談会	西河原公民館の運営について、情報を提供し、直接意見交換を行い、交流する機会を持つことで、市民参加を図る。	利用団体：62団体・61人	25.5.30	西河原公民館・学習室Ⅰ	西河原公民館運営について 公民館利用の説明 西河原公民館利用団体の交流（団体紹介、利用上感じていること） 西河原公民館利用上の意見交換
公民館	懇談会	中央公民館利用者懇談会	中央公民館の運営について、情報を提供し、直接意見を交換し、交流する機会を持つことで、市民参加を図る。	利用団体：77団体・76人	25.5.22	中央公民館・講座室	中央公民館運営について 公民館利用の説明 中央公民館利用団体の交流（団体紹介、利用上感じていること） 中央公民館利用上の意見交換

市民協働事業評価アンケート（平成25年度実績）集計結果

◇内容

・平成 25 年度に実施した市民協働事業の中から、10 事業（10 課）についてアンケートを実施。

・団体と市担当課の両方でそれぞれ同じアンケートに回答し、それをもとに意見交換。

	担当課	団体	事業名
1	安心安全課	和泉小学校避難所運営協議会	避難所運営協議会補助金
2	地域活性課	よりあいっこ実行委員会	よりあいっこ事業委託
3	地域福祉課	狛江ハイタウン団地管理組合	ワークショップ
4	高齢障がい課	社会福祉法人足立邦栄会	障がい者就労施設等への封入・封緘等委託
5	健康推進課	狛江栄養士会	マタニティクッキング（共催）
6	子育て支援課	一般社団法人サポート狛江	むいからで遊ぼう（共催）
7	環境政策課	狛江リリエンハイム花好き友の会	公園等の清掃・美化活動（アドプト活動）
8	道路交通課	狛江第三中学校	花いっぱいエリア事業（協定）
9	学校教育課	狛江第五小学校グリーンプロジェクト	小学校校庭芝生の維持管理（協定）
10	社会教育課	狛江市体育協会・東京アスレティッククラブ共同事業体	狛江市体育施設指定管理業務

◇期間

平成 26 年 7 月 11 日～7 月 28 日

◇評価基準・質問内容

1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

※アンケート用紙の各質問で、色の濃い部分が行政の評価、〇の部分が団体の評価。

＜事業実施前についての質問＞

1　協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。

2　団体あるいは市単独ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識をしていたと思いますか。

3　事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。

＜事業実施中についての質問＞

4　それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。

5　事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。

6　事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。

＜事業実施後についての質問＞

7　目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。

８　団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。
９　事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。
＜事業全体を振り返っての質問＞
１０　今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。

◇評価結果

質問	行政の評価平均	評価課数	団体の評価平均	評価団体数
1	3.30	10	3.33	9
2	3.30	10	3.44	9
3	3.40	10	3.44	9
4	3.40	10	3.55	9
5	3.30	10	3.22	9
6	3.20	10	3.22	9
7	3.30	10	3.33	9
8	3.60	10	3.55	9
9	3.20	10	3.10	10
10	3.70	10	3.50	10

◇自由記入欄・意見交換から抜粋

・行政によるＰＲのみではなく、市民目線で「ふるさと友好都市」の魅力をＰＲできた。
・なるべく多くの住民が参加に意欲を持てるような工夫を加えたい。そのため市と一緒に積極的に取組みたい。
・市役所で仕事を受注すると、不明な点があればすぐに聞きに行くこともでき、納品場所も近いため、事業所として助かる。（障がい者就労施設）
・（マタニティクッキングに参加した方が）出産してからもあいとぴあセンターの子育て事業利用につながる。
・団体と市が日常的な「顔の見える関係」を保っているので、スムーズに動けている。
・市が目指すアドプト制度がどのようなものか理解して携わっているか疑問が残る。
・市の組織変更に伴う窓口の変更など関係が不透明なところを感じた。
・他の団体の活動内容等（他の自治体も含めて）を知らせてほしい。
・市からの提案で参加した経緯があり、今では地域と学校が一体となった取組みができている。
・学校や市の担当者と月１回程度会議を行っており、そこで様々な調整が可能となっている。
・必要な消耗品を購入するのに市の手続きのために時間がかかる。
・民間のノウハウを生かした運営を行っており、指定管理導入前と比較して利用者数も増加している。（体育施設）

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	安心安全課	団体名	和泉小学校避難所運営協議会
事業名	避難所運営協議会補助金		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	和泉小学校における避難所運営体制の整備・充実		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	地域住民の安心安全の確保、共助による災害対応力の強化		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	地域住民の安心安全の確保、共助による災害対応力の強化		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	市と団体間、団体内部において、意思決定や合意形成の過程で、意見の相違や意思疎通がうまくいかないことがあった。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	複数の団体（町会・自治会等）から構成されているので、人材配置等が難しい面がある。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	③	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	④
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	③	4

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	③	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	③	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	「C.事業実施中に発生した問題・修正点等」で記載した内容は、現在は解消され、円滑な事業運営ができている。
団体	「C.事業実施中に発生した問題・修正点等」で記載した内容は、現在は解消され、円滑な事業運営ができている。

意見交換記入欄
（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

＜良かった点＞
・市民の方の意識が高く、月１度の訓練という頻度にも関わらず多くの人に参加していただいている。
・市民の方が協議会役員になり、行政主導ではなく、市民自らが主導的な立場となっているので、他の市民の方も熱心に参加していただいていることと思う。

＜悪かった点（課題）＞
・とにかく訓練が重要であり、訓練を重ねながら、技術・知識の習得や意識の更なる向上を図っていく必要がある。
・訓練を通じて、班員各自の適性を確認し、適材適所な人材配置を今後図っていきたい。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	地域活性課	団体名	よりあいっこ実行委員会
事業名	よりあいっこ事業委託		
実施期間	平成 25 年 8 月 13 日 ～ 平成 26 年 3 月 15 日		
A.事業の目標	狛江市民と新潟県長岡市川口地域との相互の交流及び理解を深める。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	住民自身による交流事業の企画立案・事業実施により、住民の声をふるさと交流のあり方に反映させることができる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	住民自身による交流事業の企画立案・事業実施により、住民の声をふるさと交流のあり方に反映させることができる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	軽い熱中症にかかった方がいたが、実行委員及び市職員で対応し、すぐに回復することができた。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	交流会の席順を考えて、川口地区の方々と話しやすくする。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	③	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	③	4
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	④

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	③	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	③	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	②	3	4

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	住民と行政が協働して事業を実施することにより、川口地域の文化や中越地震からの復興への試み等を幅広く体験することができ、川口地域への一層の愛着感、親近感を醸成することができた。
団体	市民に対してのPRが不充分。実行委員の口コミで参加者を募集している。 実行委員は公募したのか。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

＜良かった点＞
・長岡市川口支所、川口地域の方々、よりあいっこ実行委員会、狛江市の各担当のそれぞれの意見がよく反映され、幅広い事業を実施できた。川口側の提案により、これまでに実施できなかった内容も盛り込むことができた。
・以前は、地域センター運営協議会の研修として実施していたが、公募によりよりあいっこ実行委員会が組織されていることにより、様々な提案をすることができ、多くの市民が参加しやすい事業となった。
・よりあいっこ実行委員会の方々は以前より川口地域と交流があり、知識、情報が豊富である。行政によるPRのみではなく、市民目線で「ふるさと友好都市」の魅力をPRできた。

＜悪かった点＞
・市民に対するPRが十分でなく、参加者が固定化しつつある。よりあいっこ実行委員による口コミによる参加者が多いので、より広く募集していきたい。
・よりあいっこ実行委員会のメンバーがあまり変わっていない。事業を新しく展開するためにも実行委員の入れ替えも必要である。
・当日、川口地域の方々との交流がなかなかできなかった。席順を工夫するなどして、より自然な形での交流を目指したい。
＜参考＞
よりあいっこ実行委員については平成27年度改選予定

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	地域福祉課	団体名	狛江ハイタウン団地管理組合法人
事業名	ワークショップ「みんなで話し合おう！もしも災害が起こったら？」		
実施期間	平成 25 年 10 月 19 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	平成24 年度実施の低層住宅地域における災害時要援護者支援事業の継続事業として、平成25年度は中高層住宅地域を対象に実施することを目的とした。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	全4回のワークショップ（内1回は避難訓練）から次の（1）から（4）の知見を得た。（1）検討グループの立ち上げ方法 、（2）支援方針の大枠（体制・情報）、（3） 取組初期の暫定対応 、（4） 中高層住宅の災害の特徴と対策事例		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	全4回のワークショップ（内1回は避難訓練）から次の（1）から（4）の知見を得た。（1）検討グループの立ち上げ方法 、（2）支援方針の大枠（体制・情報）、（3） 取組初期の暫定対応 、（4） 中高層住宅の災害の特徴と対策事例		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	ワークショップの結果、（1）情報収集の負担軽減策、（2）支援本部機能の確保、（3）情報の一元化方法の確立、（4） 安否確認の効率化と確認漏れの対応、（5）安否確認以降の支援方法 ・ 支援技術の習得方法については、今後対応の詳細を詰めなければならない。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	ワークショップの結果、（1）情報収集の負担軽減策、（2）支援本部機能の確保、（3）情報の一元化方法の確立、（4） 安否確認の効率化と確認漏れの対応、（5）安否確認以降の支援方法 ・ 支援技術の習得方法については、今後対応の詳細を詰めなければならない。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	③	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	④
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	②	3	4

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	3	④
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	3	④

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	ワークショップにおける議論のまとめは以下の（1）から（4）までのとおり （1）在宅避難の方針 狛江ハイタウンにおける集合場所である中央広場は、避難に十分な広さがないため、建物が利用可能な場合は避難せず、自宅に留まることとした。 （2）支援体制 各棟を基準として、棟内を縦横に分割し、さらに縦階と横階を組み合わせて体制を組むこととした。この支援体制は、災害時の避難支援のみならず、普段の備えを強化するための組織単位ともなっている。 （3）支援範囲 安否確認後、避難の必要性に応じた支援を実施することとした。 （4）情報収集 平常時には、平成24年度に駒井町会において実施したワークショップで作成した市標準形式のシートに、血液型、日本語の可否(外国人向け)、かかりつけ医の情報を追加した新しいシートを利用することとした。 災害時には、災害の正しい情報を得るため、災害情報や住民情報を集約する掲示板を設置するほか、ハイタウン管理組合だけでは効果的な対策は困難であるため、市や地域避難所との情報パイプや救助物資の供給を強化することとした。
団体	平成25年度実施のワークショップでは、避難行動要支援者の受講は多かったものの、平成26年度以降は避難行動要支援者の参加を希望したい。 また共助の方法を学ぶとともに、今回のワークショップを継続する事業の実施を望んでいる。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

・組織間の連携については不十分さが目立ったが、住民のフットワーク、機器・機材の使用習熟度は、前回の避難訓練の反省を活かしてかなり技術力を高めることができた。
・訓練はやはり災害ボランティアが中心となりがちであったが、現在導入を検討している高層階からの「イーバックチェア」の利用を含め、なるべく多くの住民が参加に意欲を持てるような工夫を加えたい。そのため市（地域福祉課、安心安全課）と一緒に積極的に取り組みたい。
・身体的・物理的訓練と同様、情報の使い方についても訓練次第であることがわかった。まだ前年度、今年度の2回であるので、今後も毎回ハケでペンキを塗り重ねるようにして、訓練精度を高め、いつ発生するかわからない災害にハイタウンとして混乱なく対処できるようにしたい。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	高齢障がい課	団体名	社会福祉法人足立邦栄会
事業名	障がい者就労施設等からの自主製品あっ旋		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	平成25年4月の国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律施行に伴い、障がい者就労施設等の受注機会の増大を図るため、物品等の調達の推進を図る。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	社会福祉法人足立邦栄会へは、障害者優先調達推進法の対象であり、また、従前から法人へ封入封緘委託をしていることから、連携の土台ができており、法改正をきっかけに物品等の調達の推進を進めやすい。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	・受注機会の増大は、課題となっている工賃のアップにつながる。 ・障がい者施設と市の連携が強くなり、障がい者支援の充実を図れる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	物品調達の内容・数については、就労施設のスケジュール・事業内容に合っているものでなければ負担をかけてしまう。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	特になし。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	3	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	4
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	4

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	4
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	3	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	3	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	4
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	②	3	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	実施事業の内容 ・封入、封緘委託（市民税特別徴収総括表、市民税申告書、生活機能チェック票、がん検診個別通知、子育て応援カード等） ・障がい者週間記念品（クッキー）の購入 ・名刺印刷
団体	・質問内容が抽象的で答えるのが難しい。（アンケートについて） ・利用者に高い工賃が払えない現状があるが、身の丈に合った事業運営の中でその可能性を模索し続けていきたいと考えている。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

・現在、受注数としては不足はしていない。
・できれば、長い期間の納期で単価が高いものであれば対応（受注）しやすいが、実際は納期が長ければ単価が低く、納期が短ければ単価が高いのが現状。
・仕事を多く受注することはできるが、報酬が低いものも多く工賃の増にはつながりにくい。安定して長期にできる仕事を受注したい。
・市内3事業所（こもれび、こだち、もえぎ）の事業所でできる作業の内容等に違いがあり、作業の振り分けを行う等連携して行っている。
・複雑な作業（紙の三つ折り等）は職員の手が少しかかるので、負担がある。
・封入やラベルを貼る作業等の単純作業は、みんでできる作業であるので、受注しやすい。
・効果的に仕事を受注するには、チラシの作成・配布等広報・周知に工夫が必要である。
・市役所で仕事を受注すると、不明な点があればすぐに聞きに行くこともでき、納品場所も近いため、事業所としては助かる。
・仕事の納期が重なってしまうとどちらかを断らなくてはならなくなる。断ることを続けると仕事がもらえなくなる可能性もある。事前にスケジュールをもらえるとありがたい。
・市の中での受注の単価が違うが、個々の事情であわせて契約を行っていきたい。
・家電の分解についてはなかなか時間がとれていない（職員等がレクチャーが必要なため）。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	健康推進課	団体名	狛江栄養士会
事業名	マタニティクッキング		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	食生活の向上を目指し、妊娠中の食生活に関する悩みや不安の解消を手助する。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	参加者相互の親睦をはかり、地域での子育て時期の相談相手を作れる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	参加者相互の親睦をはかり、地域での子育て時期の相談相手を作れる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	参加者が集まらず、開催できない場合がある。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	出産間際までの就労が増えたことにより、参加者が減る傾向があり、開催できないことがある。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	3	④
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	③	4
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	④

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	3	④
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	3	④

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	3	④

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	参加人数が集まりにくいのが課題だが、参加者は楽しく料理やおしゃべりをして、情報交換や友達づくり、息抜きのいい場になっている様子で好評。市では場所の提供、チラシの配布やママパパ学級での口頭での宣伝、広報などの周知を行い、参加募集をしている。
団体	参加者には好評でリピーターも多いが、出産間際までの就労が多いので、料理教室にまで休暇をとれないのが不参加の理由と思われる。市でもチラシ、市報など周知のためにいろいろ工夫がなされているが、一層の広報をどうするのかを課題としている。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

＜良かった点＞
・事業内容は好評で、参加者は満足度が高くリピーターになる方もいる。
・地域の妊婦同士や出産経験のある栄養士と一緒に料理実習をすることにより、出産や育児、食事などの相談もしながら親交を深めることができる。
→出産、育児不安の解消の手助けとなる。
→出産してからもあいとぴあセンターの子育て事業利用につながる。
・栄養士会と市担当者で連絡をとり合い、スムーズに実施できた。

＜改善点＞
・人が集まらない。
→平成26年度より、母子バックに入れて配っているチラシに毎月の実習メニューを加えるなどチラシを改良。また、広報での募集広告もするようにした。
→周知しているつもりだが、知らなかったと言われることもあり、事業周知が難しい。
・出産直前まで働いている妊婦の方も多く、参加が難しい方がいる。
→土・日開催の要望もあり、検討が必要。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	子育て支援課	団体名	サポート狛江
事業名	むいからで遊ぼう		
実施期間	平成 25 年 5 月 18 日 ～ 平成 25 年 10 月 19 日		
A.事業の目標	むいから民家園で、子育て中の親子が楽しく遊び、交流する場を提供する。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	・子どもたちとその保護者を対象に、遊びの場を提供する。 ・子育て中の親子が、楽しく遊びながら子育てについて学び合う。 ・子育てについての専門スタッフが、子ども達・親子・参加者の交流をサポートする。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	・土曜日開催、古民家園の開放的な環境が、父親の来園をうながし、両親での子育てを後押しできている。 ・「相談」には至らない、やや気になる親子を、さりげない遊びのしつらえの中でサポートできる。 ・継続してきたことで、参加者やボランティア同士の交流が生まれている。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	特になし。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	特になし。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	3	④
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	④
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	④

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	②	3	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	②	3	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	参加者からの評判もよく、子育て中の親子が楽しく遊び、交流する場を提供できた。
団体	・団体と市が日常的な「顔の見える関係」を保っているので、スムーズに動けている。市民協働を実施する際には、団体と市が、相互の事情を理解することが大切になると思う。 ・当日手伝ってくれるボランティアスタッフを探すことは、市内のつながりの強い団体側の得意分野でもある。 ・担当課は業務多忙の中、前日から当日、翌日の片づけまで、こころよくやっていただき、ありがたかった。 ・来場される方の笑顔と「楽しかった」「また来ます」という声がこの企画の成果であり、団体にも市側にも充実感が残るのだと思う。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

（1）団体側は企画と実施、市側は物品の提供や運搬および広報（用紙の提供・印刷・市の関係機関への配布・市報掲載）という役割分担で実施した。回を重ねて、スムーズに運んでいる。
（2）物品の搬入を前日に行うように変更し、当日の慌ただしさはいくぶん改善されたものの、テント張りや、イスを並べるなどの会場準備には人手が必要である。逆に、人手が必要なために、ボランティアを一生懸命探し、人とのつながりが生まれている面もある。
（3）気軽な相談の入り口を提供するという目的については、人が多いため、その場での相談には至らないが、相談窓口を知らせることや、簡単な育児相談などは可能である。サポート狛江メンバーがもっと目立つ服装やワッペンなどをつけて、アピールする必要がある。
（4）「むいからで遊ぼう」へのリピーターが増えていることは喜ばしいが、一方、障がいある子どもたちへの積極的な参加の広報が弱まっている。
（5）市内の中学生・高校生、発達障がいや精神障がいをもつ方、引きこもり青年、吃音の青年たちなど、さまざまな当事者のボランティアスタッフとしての参加が毎回増えている。ここでの出会いをきっかけに、別の場面でのコラボが生まれたりと、あらたな活動を生み出す「出会いの場」としても意味を持ち始めている。
（6） 年に2回しかない「出会いの場」だけでも、このような目に見える成果が生まれているので、地域の中で、もっと日常的に開かれる「出会いの場」が用意される必要がある。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	環境政策課	団体名	狛江リリエンハイム花好き友の会
事業名	アドプト活動（公園等の清掃・美化活動）		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	公園等公共施設の一部区間の清掃や花植えなどの維持管理をボランティア活動として実施することで、市民協働と地域住民の連帯意識を高める。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	アドプト活動を通して、地域の美化意識の向上や公園への愛護心、また、地域コミュニティの形成などの効果が期待される。また、アドプト活動によりパトロールしていただくことで、公園の異常についても早期に発見でき対応できる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	個々の私たちができることから、係わっていく。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	年間を通して、活動者とお会いして話をする機会が少ないこと。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	効果は薄いと思うが、継続することに意味がある。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	②	3	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	②	3	4
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	③	4

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	②	3	4
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	②	3	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	②	3	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	②	3	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	狛江リリエンハイム花好きの会は、活動範囲が非常に広く、けやき児童遊園や野川緑地公園の東野川周辺の清掃等をしていただいている。 活動後、公園内に何かあった場合、その都度メール等で連絡をいただけることから、担当課としても公園内の異常を早期に発見でき、対応できるようになった。
団体	私たち自身、市の目指すこの事業を理解して携わっていたのか、疑問の残るところ。単なる自己満足ではないのか、余計なことをしてしまっているのではないのか、など疑心暗鬼なところがある。 事業に係わるところで、市の組織変更に伴う窓口の変更など関係が不透明なところを感じたり、他のチームの活動状況であるとか、他の自治体の活動状況などと比較して、自身の事業に対する客観的な位置付けが認識しづらいところがある。 市街をきれいにしなければならないと感じて、興味を持っている方は、結構いらっしゃると思う。そういう方々が気軽に参加できるような働きがけができる環境を整備すべきと思う。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

・市が目指すアドプト制度がどのようなものか理解して携わっているか疑問が残る。
・他のアドプト団体の活動内容等（他の自治体も含めて）を知らせてほしい。
・アドプト制度について、もっと広報活動をしてほしい。市街をきれいにしたいと思っている人は結構いると思う。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	道路交通課	団体名	狛江第三中学校
事業名	花いっぱいエリア事業		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	狛江第三中学校東側のふれあい側道の植栽帯に、空き缶や吸殻のゴミ等の不法投棄を防ぐために、きれいな花々を植えて景観を向上させていく。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	維持管理は、狛江第三中学校の生徒が行い、環境保全と美化推進により、生徒の教育効果が期待できる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	維持管理は、狛江第三中学校の生徒が行い、環境保全と美化推進により、生徒の教育効果が期待できる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	特になし。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	特になし。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	3	④
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	④
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	④

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	3	④
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	3	④

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	・近接地域の方々から「きれいで気持ち良い」等のご意見をいただける。 ・当初の予定とおり、環境美化の観点から不法投棄の防止が出来ている。
団体	・通行する人たちから「花がきれい」など喜びの声を聞くことが多く、そのことを生徒たちにフィードバックすることにより、生徒会を中心とした生徒の組織の動機付けになっている。 ・花がきれいに植栽されていることにより、ゴミやたばこのポイ捨て不法投棄が、格段に減少している。 ・狛江市としての事業であることから、狛江市の担当部局と連携して行えることも、学校としても有意義である。なぜなら、教育委員会を始め、市関係部局と連携していくことは、学校の運営はもとより、生徒の教育上も地域に支えられた学校であることを学ばせることができ、今後も欠かすことができない。 ・環境に対する生徒の意識も高まり、特に今年度は校内美化に力を入れていることもあり、校舎内外は本当にきれいな状態が保たれている。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

（市担当）
・「花いっぱい事業」は、市民協働というよりは、駅周辺の美化及び景観向上に協力していただける団体の活動を行政がサポートするという、東京都市長会の多摩・島しょ地域力の向上事業としてスタートした。
・平成22・23・24年度の助成金を活用した事業だったが、狛江三中をはじめとする協力に対し、助成金終了後も市の事業として進めている。今後も協力の上、景観向上・環境美化の観点から事業として推進していきたいと考えている。
（狛江三中）
・植栽の維持管理をさせていただいている『ふれあい通り』の空地は、事業開始前は中低木が植えられていたが管理者が固定されていないようで、三中脇という事から、地域の方から三中に対し苦情やご意見の連絡が多く、どう進めて良いか対応に苦慮しているところ、市からの提案により積極的に参加させていただいた経緯があり、今では地域の方も維持管理の協力をしてくださり、地域と学校が一体となった取り組みができている。
・平成23年度より協力させていただき、その功績を認められ、今回「全日本花いっぱい連盟」より奨励賞として表彰していただいた。

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	学校教育課	団体名	狛江第五小学校グリーンプロジェクト
事業名	狛江第五小学校校庭芝生部分の維持管理		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	校庭芝生部分の維持管理及び芝生を活用した地域コミュニティの形成		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	協働することで情報の共有化が図られ、様々な課題に対応しやすくなる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	他の団体や都との関係が保てることにより、情報を共有できる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	害虫被害、スプリンクラー等の設備の不具合		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	害虫問題、設備の故障（メンテナンス含）		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	3	④
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	3	④
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	3	④

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	3	④
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	3	④

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	3	④

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	・本事業は学校敷地内での作業であり、維持管理団体の都合のみで実施日時等を決定することができず、様々な調整ごとが生じる。月１回程度調整会を行っており、学校、市、維持管理団体が協力しながら事業を進めている。 ・学校の全面協力で維持管理団体による芝生を活用しながら様々なイベント（子どもたち向け、地域の方向け等）が年数回開催されており、芝生の維持管理のみならず、芝生を活用した地域コミュニティの形成に寄与している。 ・発足当初は、なぜ自分たちがこんなことをするのかといった厳しい意見をいただくこともあったが、近年は皆さんに芝生に愛着を持っていただけ、積極的に維持管理や、イベント開催等を楽しみながら実施していただけている
団体	学校と地域をつなぐ作業として本当によく趣旨をご理解いただき、協力していただいた。ありがたい。

意見交換記入欄

（良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）

＜良かった点＞
・本事業は学校敷地内での作業であり、維持管理団体の都合のみで実施日時等を決定することができず、様々な調整が生じる。学校の管理職、市の担当、維持管理団体が協力しながら進められる現行の取組のかたちができている点がよい。
①学校や市の担当者と月１回程度会議を行っており、そこで様々な調整が可能となっている。
②東京都の緑化事業や他市の例などの情報が得られる。
③市が講習会の手配をしており、維持管理団体の主に活動する委員は毎年代替わりするが、芝生の知識を得られる。
＜悪かった点＞
・必要な消耗品を購入するために、市の担当にお願いするため時間がかかる。枠も厳しい。（炎天下、芝刈りに参加してくれた地域の子どもたちにアイスやジュースを配りたいが、それは認められない。）

市民協働事業評価アンケート

市の担当部署	社会教育課	団体名	狛江市体育協会・東京アスレティッククラブ共同事業体
事業名	狛江市体育施設指定管理業務		
実施期間	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日		
A.事業の目標	市民に対する施設サービスの効果及び効率を向上させることによって、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与する。		
B.事業の意義・メリット〔行政〕	民間事業者のノウハウを活用することによって、市民サービスの向上を図ることができる。		
B.事業の意義・メリット〔団体〕	民間事業者のノウハウを活用することによって、市民サービスの向上を図ることができる。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔行政〕	特になし。		
C.事業実施中に発生した問題・修正点等〔団体〕	特になし。		

評価基準	1：まったくできなかった　2：良くできなかった　3：良くできた　4：大変良くできた

事業実施前についての質問		評価			
1	明確・具体的な目標を、団体と市両者で共有されていたと思いますか。	1	2	③	4
2	団体あるいは市の単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。	1	2	③	4
3	事前に役割分担を明確にされていましたか。	1	2	③	4

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
5	事業実施中に意見交換や情報交換を行うことができましたか。	1	2	③	4
6	事業実施中に発生した問題に対し、連携して柔軟に対応できましたか。	1	2	③	4

市民協働事業評価アンケート

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
8	団体と市で協働して実施し、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
9	事業終了後に事業を振り返り、話し合うことができましたか。	1	2	③	4

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④

その他特記事項、評価の理由、補足事項等をご記入ください。	
行政	市民のニーズを取り入れて託児付きの教室を設定するなど、民間のノウハウを生かした運営を行っており、指定管理導入前と比較して利用者数も増加している。また、利用者アンケートの満足度も高く、制度の導入に効果があったと思われる。
団体	指定管理者として、 ①利用サービスについては、年間4期のスポーツ教室等は、市内の幼稚園や小学校を通じて、チラシを配布し行っている。トレーニング室、初回利用者のケアを行い、リピーターの獲得に努めている。また、若いお母さんが手軽に参加できるように、無料の託児も行っている。 ②施設の維持・管理では、環境にやさしい施設として、「遮光ネットの設置」「体育室の照明の間引き(節電)」「トイレの人感センサーの設置」「女子トイレ水の節水」などを実践し、経費の節減に取り組んでいる。 ③緊急時対応では、災害別にマニュアルの作成、従業員には「防災訓練」「普通救命講習」「個人情報保護」などを研修させている。 ④組織運営については、情報を従業員全員が共有できるように、毎日の朝礼、昼礼での説明及び連絡ノートや提案ノートを活用している。 ⑤地域との連携では、託児付親子スポーツ教室の実施や6万人以上が参加する市民祭りのスポーツ広場・体力測定への協力、地域の清掃イベントや熱中症予防講習会の実施などを通じて、地域住民との交流を図っている。 ⑥その他として、教育委員会や各種団体と協力して、障がいのある児童・生徒のために、レクリエーション事業の指導にあたった。さらに、災害時に備えて、災害ベンダー自販機を設置した。

意見交換記入欄 （良かった点、悪かった点等を箇条書きで、ご自由にお書きください。）
特になし。